

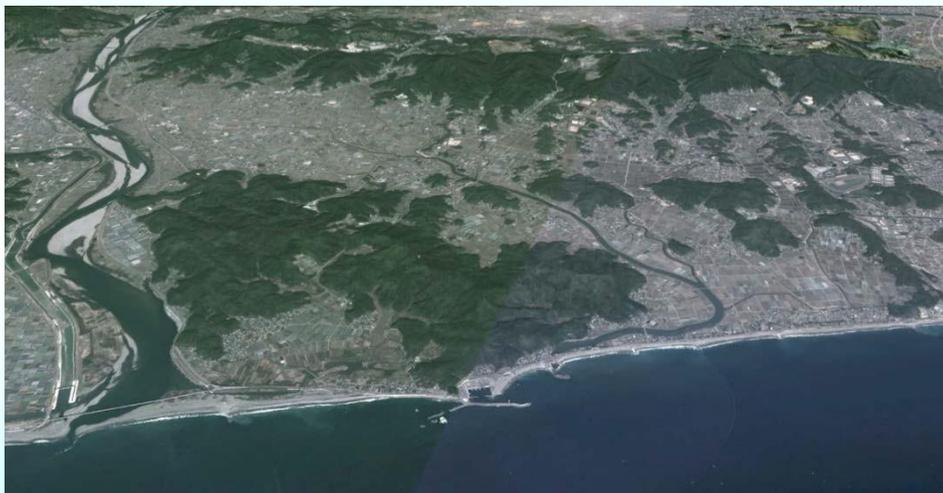
春野東・西小学校区 津波避難計画書

平成 26 年 3 月作成

令和 7 年 3 月改訂

「長い揺れ」を感じたら津波が来る！

と思って、近くの安全な高台に避難しましょう！



目 次

	ページ
第1章 はじめに.....	1
第2章 地区別津波避難計画の目的.....	2
第3章 想定される地震・津波と被害想定.....	3
第1節 高知市全体の予測.....	3
第2節 高知市全体の被害想定.....	6
第3節 春野東・西小学校区の地震・津波予測.....	7
第4章 春野東・西小学校区の概要.....	10
第1節 地形特性.....	10
第2節 社会環境.....	11
第5章 春野東・西小学校区の津波避難の考え方.....	14
第1節 避難行動の考え方（共通）.....	14
第2節 春野東・西小学校区の避難行動の考え方.....	17
第3節 春野東・西小学校区の緊急避難場所.....	19
第4節 津波避難経路.....	23
第6章 津波避難における課題と今後の取組.....	24
第1節 避難行動の課題.....	24
第2節 課題の解決に向けた取組.....	25
第7章 検討経緯.....	26
第8章 津波避難計画の検証.....	28
第9章 南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難.....	29

参考資料

- ① 春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧
- ② 春野東・西小学校区 津波避難マップ
- ③ 春野東・西小学校区津波避難行動支援マップ（平成25年度作成）
- ④ 臨時情報について

第1章 はじめに

高知県真下付近で発生すると予測されている南海トラフ地震は、今後20年以内に60%程度、30年以内に80%程度、40年以内に90%程度（地震調査研究推進本部：令和7年1月現在）の高い確率で発生すると言われています。また、内閣府が平成24年8月に発表した「南海トラフの巨大地震^{※1}の被害想定について」ではマグニチュード9.1と、東日本大震災のマグニチュード9.0を上回る規模の地震の発生を予想しています。

高知市においても、過去の南海地震で繰り返し被害を受けてきたことを踏まえ、「南海トラフの巨大地震」が発生した場合でも、被害を最小限に軽減するために市民と事業者、市などが一体となって対策を進める必要があります。

高知県が平成25年12月に公表した「高知県津波避難計画策定指針」では、津波浸水の予測される区域内の自主防災組織などは、津波からの円滑な避難を行うために、「地域（地区別）津波避難計画」を策定することが規定されています。

そのため、津波被害から命を守るために、市民一人一人が「津波から避難する」意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な高台や避難場所、津波避難ビル、津波避難タワーなどへ迅速に避難することを目的として、春野東・西小学校区津波避難計画検討会は「春野東・西小学校区津波避難計画」を策定しました。

※1 「南海トラフの巨大地震」とは、東海・東南海・南海地震が連動して同時に発生した場合の地震のことで、発生頻度は極めて低いですが科学的見地により発生する可能性のある最大クラスの地震です。

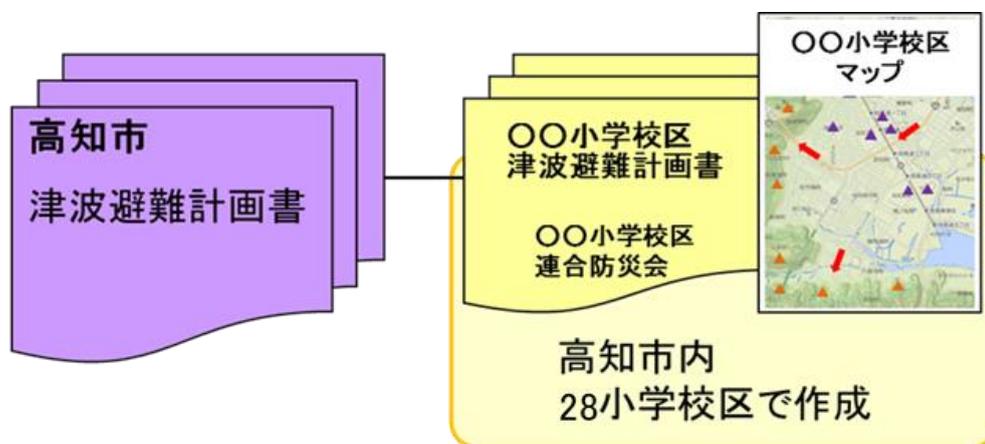


図1-1 小学校区毎の津波避難計画の位置付け

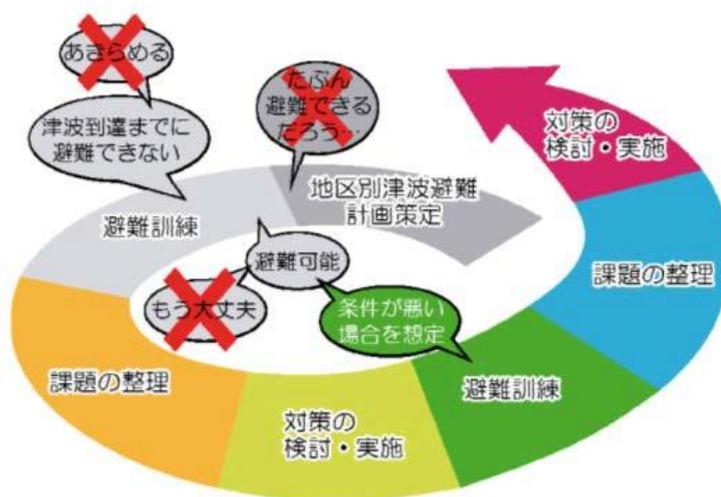
第2章 地区別津波避難計画の目的

高知市は、南海トラフ地震と津波によって大きな被害が想定されています。大きな災害に襲われるおそれのある地域で暮らす私たちにとって、災害に備えることは、安心して暮らす上で必要不可欠なことです。その手段は、地域の現状と想定される災害について「正しく知り」、「正しく恐れ」、「正しく行動する」ことです。

津波避難計画は、地震発生から、津波が終息するまでの間、どのような状況に陥っても、あきらめず自らの命を守る適切な行動が取れることを目的として、自主防災組織等が、自らの行動計画として策定するものです。

行動計画策定や改訂に至る経緯、避難訓練等で明らかとなった課題をこの計画書に明記し、地域住民が主体となって、行政や学校、事務所等と連携して解決に向けた取組を継続します。

なお、この計画書では地震発生から津波警報が解除されるまでの避難について主に記載しています。避難生活をする指定避難所に関する情報やルールなどについては、別に検討します。



出典：地域津波避難計画点検マニュアル（平成25年12月 高知県）

図2-1 地区別津波避難計画策定からスタートする地域の津波対策のイメージ

第3章 想定される地震・津波と被害想定

第1節 高知市全体の予測

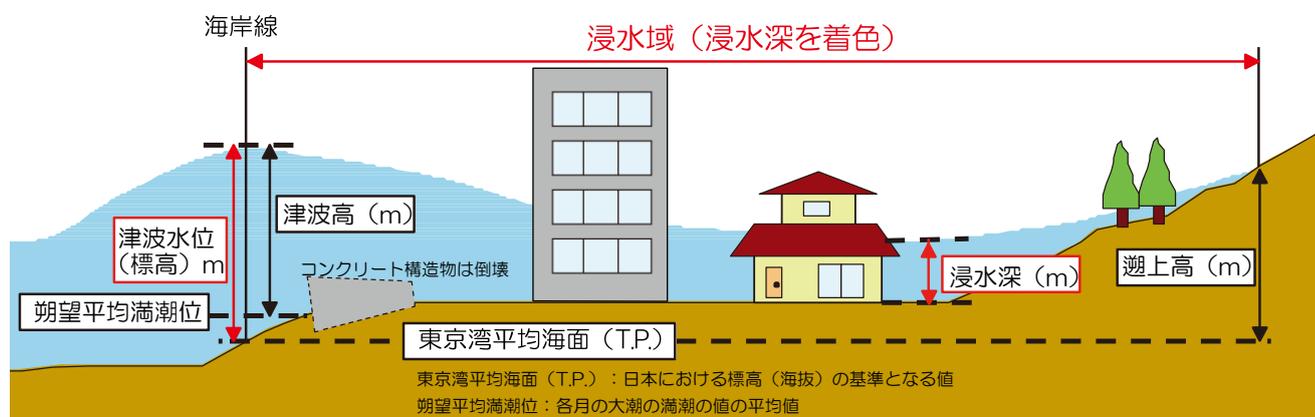
ポイント

- ・ 高知市の予想震度は最大震度7
- ・ 津波浸水深は最大 10～15m、津波到達時間は沿岸部で最短 10～20 分

高知県が平成 24 年 12 月に発表した「高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」の結果概要は以下のとおりです。

表3-1 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測の概要（高知県：平成 24 年 12 月）

想定地震	南海トラフの巨大地震（内閣府中央防災会議モデル：平成 24 年8月）
地震規模	マグニチュード 9.1（津波断層モデル）
予想震度	震度6弱～7（高知市）
津波予測における潮位	朔望平均満潮位：T.P.+0.93m 朔望平均満潮位：各月の大潮の満潮の値の平均値 T.P.：日本における標高（海拔）の基準
津波予測における構造物の取扱	【堤防・防波堤】 土で築造された堤防は地震前の高さの 25%に沈下し、津波が越流し始めた時点で「堤防なし」とする。 コンクリート構造物は地震により倒壊するとし、はじめから「堤防なし」、「防波堤なし」とする。 【水門など】 耐震化され、自動降下対策済み、または常時閉鎖の施設は水門が閉まっているとする。これ以外の水門などは開いているものとする。



※津波浸水深とは、津波により水に浸かってしまう地面からの高さを示す。
 ※朔望平均満潮位とは、朔（新月）及び望（満月）の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値を示す。
 ※T.P.とは、東京湾中等潮位。地表面の標高、すなわち、海面からの高さを表す場合の基準となる水準面を示す。

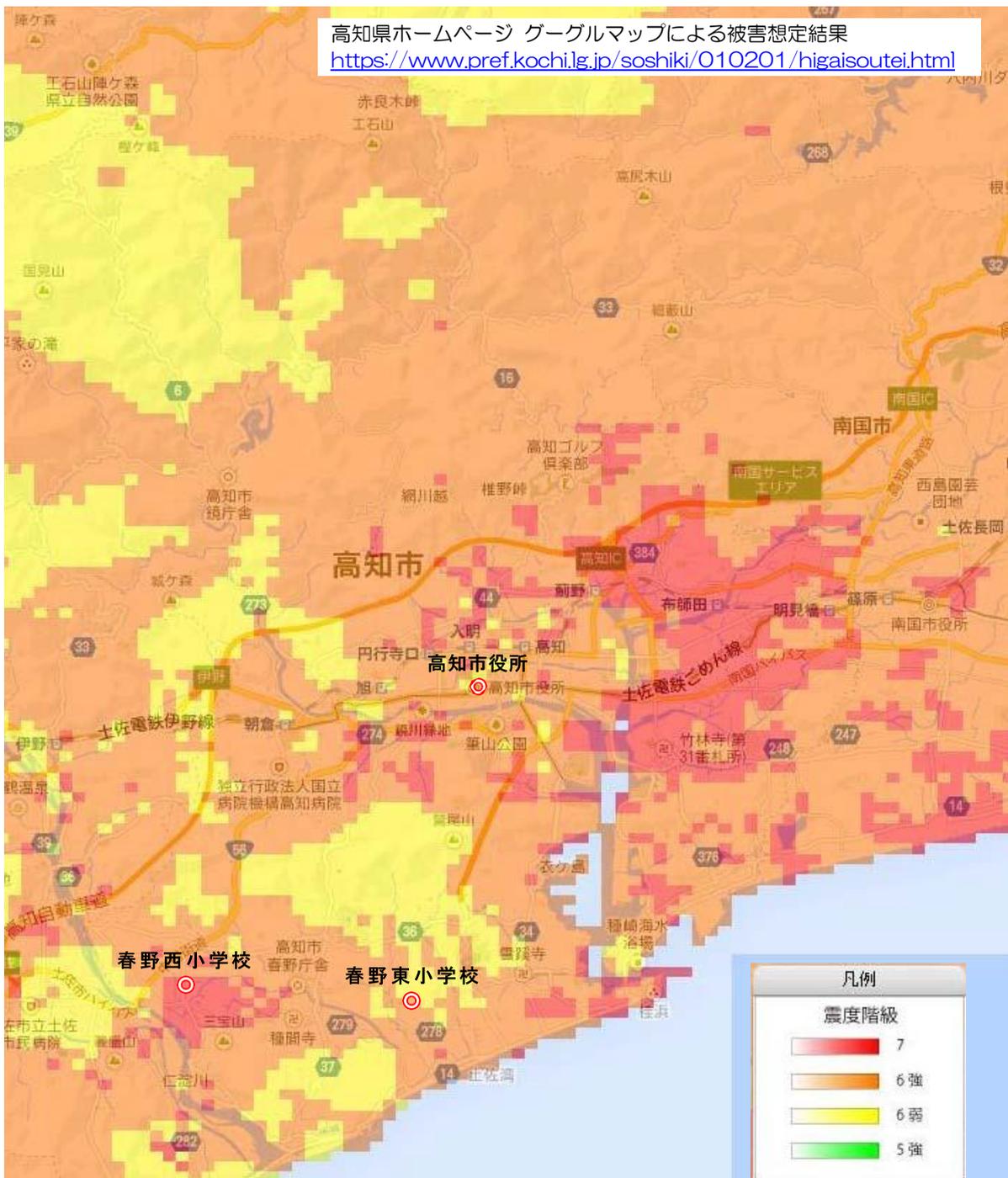
図3-1 津波高・浸水深のイメージ

津波からの避難行動を考える場合、津波浸水予測図や津波浸水予測時間図が参考となります。また、襲来する津波の方向や挙動を表したアニメーションは、避難の方向や避難時間を把握するうえで大変参考になります。

※参照：【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波のアニメーション

→ <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/O10201/tsunami-anime.html>

高知市全体の震度予測、津波浸水予測、津波浸水予測時間の図を示します。



(出典：高知県ホームページ グーグルマップによる被害想定結果)

図3-2 高知市の震度分布図

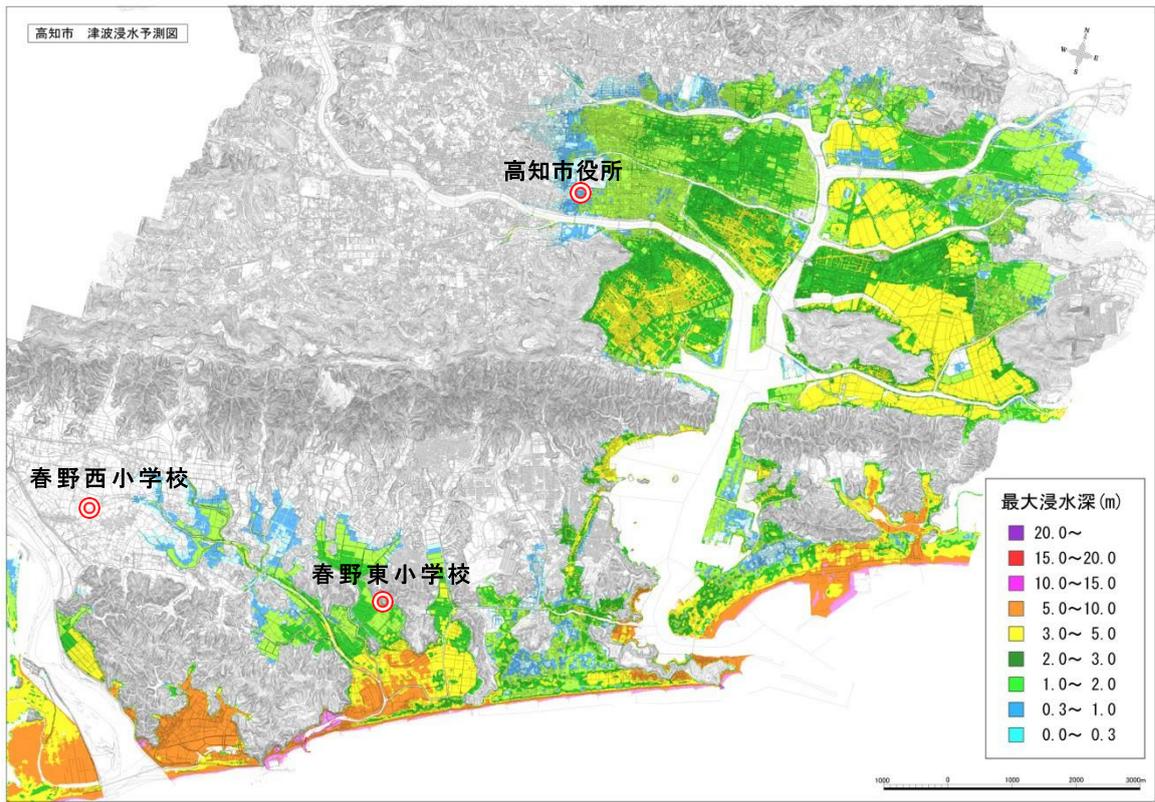


図3-3 高知市の津波浸水予測図

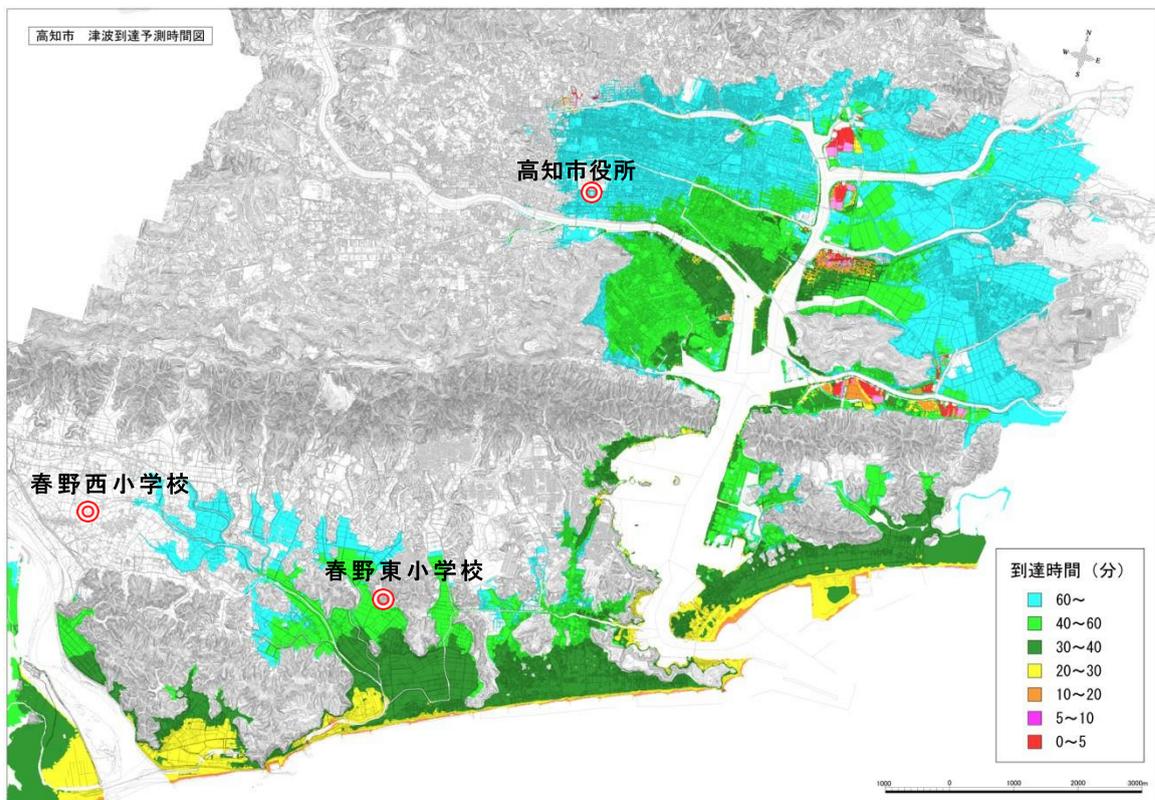


図3-4 高知市の津波浸水予測時間図

第2節 高知市全体の被害想定

平成24年12月に公表された【高知県版第2弾】震度分布・津波浸水予測の結果を基に、過去の事例等に基づいて推計した被害想定のうち、高知市の建物被害、人的被害（死者数、負傷者数）は以下のとおりです。

表3-2 高知市全体の地震・津波による被害想定

建物被害	建物棟数	条件	液状化 (棟)	揺れ (棟)	急傾斜地崩壊 (棟)	津波 (棟)	地震火災 (棟)	合計 (棟)
	130,425	現状	340	32,000	260	16,000	2,800	52,000
		対策後	—	5,000	—	—	—	—

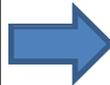
人的被害 (死者数)	人口 (H17国勢調査)	条件	建物倒壊 (人)	うち屋内落下 物等(人)	津波 (人)	急傾斜地崩壊 (人)	地震火災 (人)	合計 (人)
	350,426	現状	2,100	(150)	10,000	40	280	12,420
		対策後	270	—	590	—	—	860以上

人的被害 (負傷者数)	人口 (H17国勢調査)	条件	建物倒壊 (人)	うち屋内落下 物等(人)	津波 (人)	急傾斜地崩壊 (人)	地震火災 (人)	合計 (人)
	350,426	現状	11,000	(2,300)	840	40	200	12,080
		対策後	3,000	—	0	—	—	3,000以上

—：未算出 ※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

【現状】

- 避難開始のタイミング
 - ・10分後に避難開始：20%
 - ・20分後に避難開始：50%
 - ・津波が到達してから避難開始：30%
- H25.3時点の津波避難タワー、津波避難ビルを考慮（整備率※26%）
- 住宅の耐震化率：74%



【対策後】

- 避難開始のタイミング
 - ・10分後に避難開始：100%
- H25.2時点で建設予定の避難路・避難場所、津波避難タワーの整備が完了（整備率100%）



防波堤の崩壊



ブロック塀倒壊



建物倒壊



津波



火災



液状化

出典：(財)消防科学総合センター

第3節 春野東・西小学校区の地震・津波予測

ポイント

- ・ 春野東・西小学校区の予想震度は最大震度7
- ・ 津波浸水深は最大 10～15m、民家への津波到達時間は最短 10～20 分
- ・ 平地部では地震の揺れによる液状化の発生の可能性が高い

高知県が平成 24 年 12 月に公表した南海トラフの巨大地震による震度分布、津波浸水予測と、それに基づく被害想定によれば、春野東・西小学校区では以下のような想定がなされています。

- ・ ほとんどの地区が、最大震度は**6強～7**であり、一部南ヶ丘地区では6弱の想定となっている。
- ・ 津波最大浸水深は甲殿地区の 10～15mをはじめとして仁ノ、東諸木の土佐湾沿岸部で5m以上、浸水域は仁淀川左岸の西畑地区全域から、新川川上流の弘岡中地区付近まで広がる。
- ・ 津波浸水時間（浸水深 30cm）は、土佐湾沿岸部で**20分以内**の予測であり、想定浸水域のほとんどが60分余りで浸水する。

また、地震の大きな揺れにより家屋などに被害が生じたり、液状化により道路が被害を受けることが考えられます。このような状況の中では、いつもどおりの津波避難ができない可能性があります。

最大予想震度である震度6強、震度7では、次のような揺れであり危険な状態です。



図3-5 地震の震度と揺れ等の状況（気象庁HPより）

春野東・西小学校区の地震・津波等に関する予測図を次に示します。

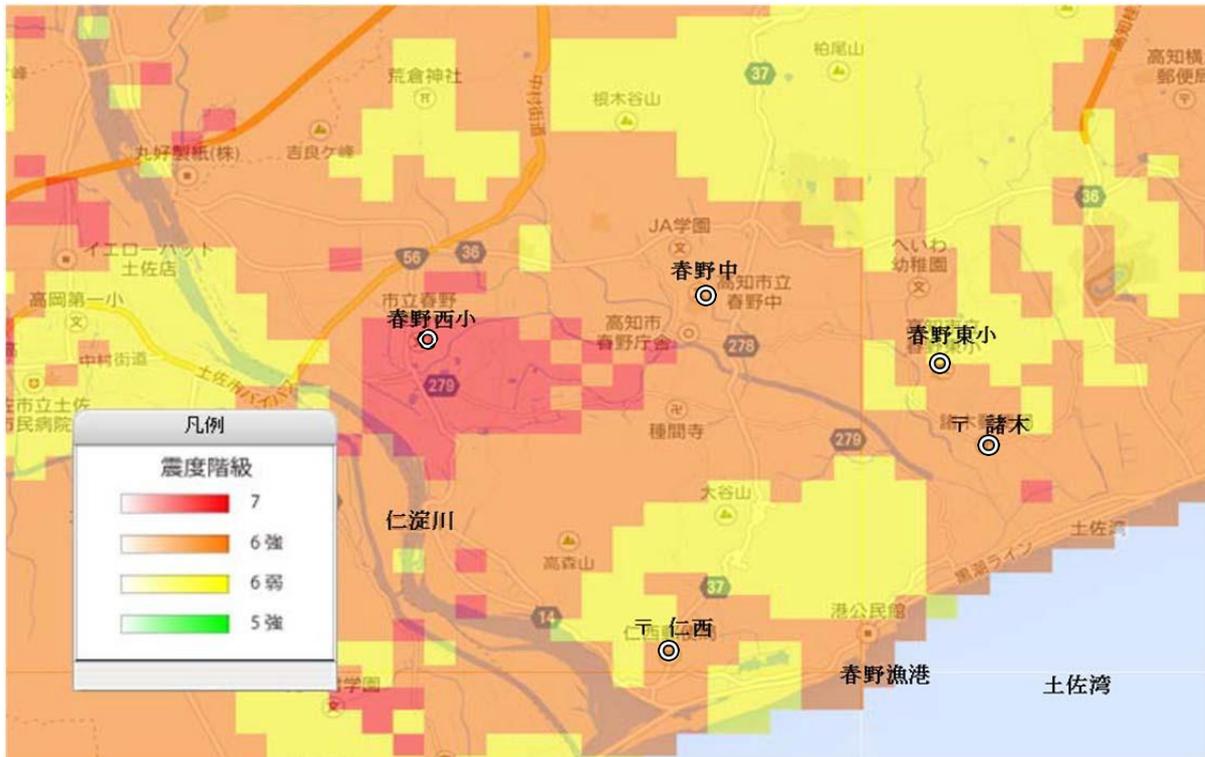


図3-6 春野東・西小学校区の震度分布図

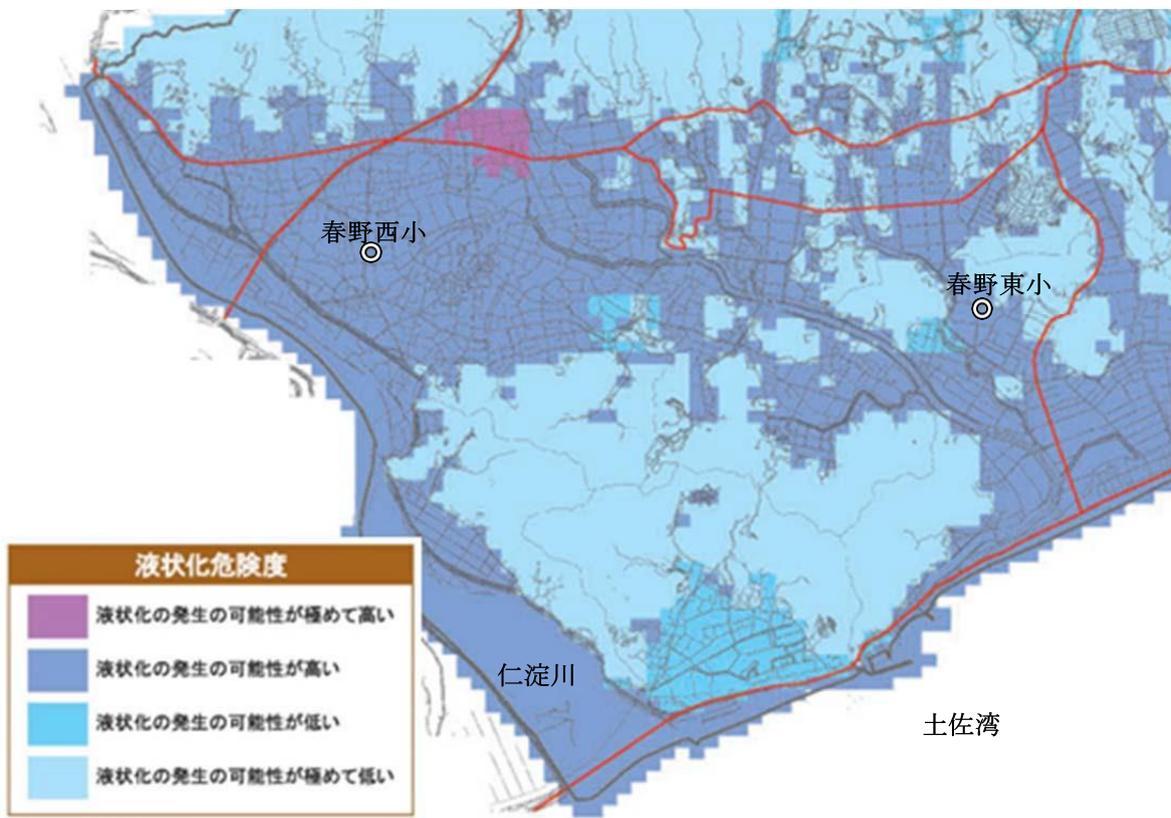


図3-7 春野東・西小学校区の液状化危険度図
(高知市地震ハザードマップ平成23年5月)

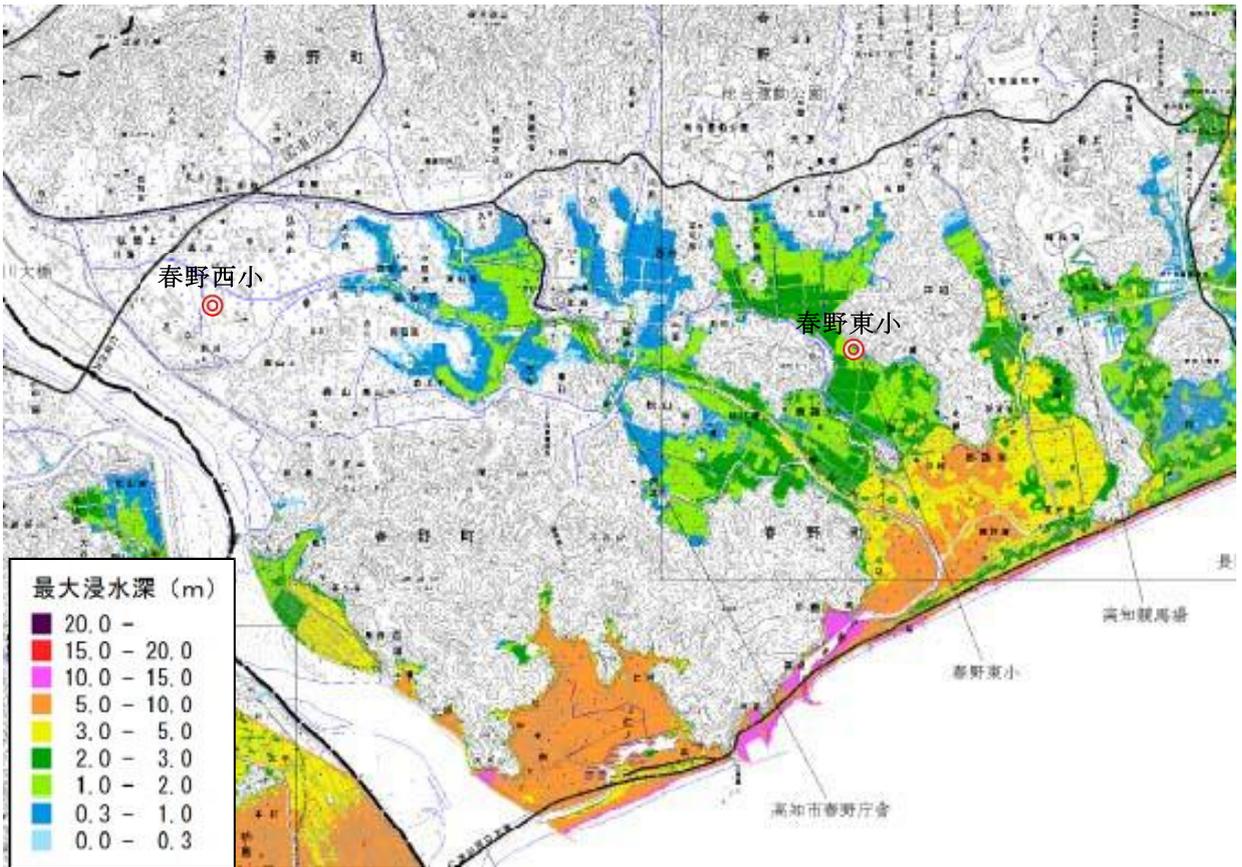


図3-8 春野東・西小学校区の津波浸水予測図

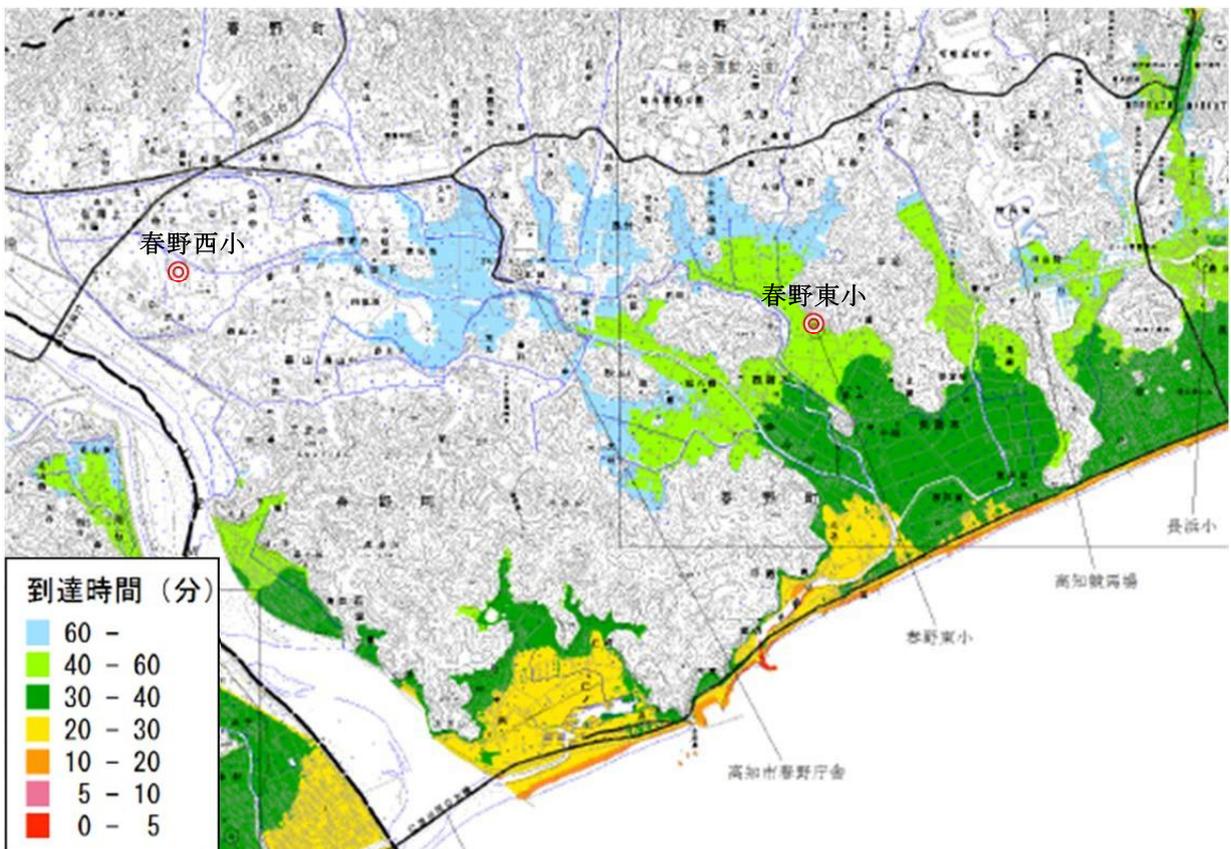


図3-9 春野東・西小学校区の津波浸水予測時間図

第4章 春野東・西小学校区の概要

春野東・西小学校区の現状は以下のとおりです。

第1節 地形特性

春野地区は、町の北側に山地を挟み旧高知市があり、西側は仁淀川が流れています。南側は土佐湾に面していて、町全域は吾南平野が広がっています。平野内に小高い山地が点在し、緊急避難場所の高台として活用されています。しかし急斜面であり避難路を整備する必要があります。

土地利用は、農業が主体であり平野部はほとんどがビニールハウスなど田畑で、仁淀川水系の用水路網が縦横に流れています。津波の挙動は、南の土佐湾沿岸から仁淀川及び新川川に沿って遡上していくことが予測され、浸水域は沿岸部と、この水域で顕著です。

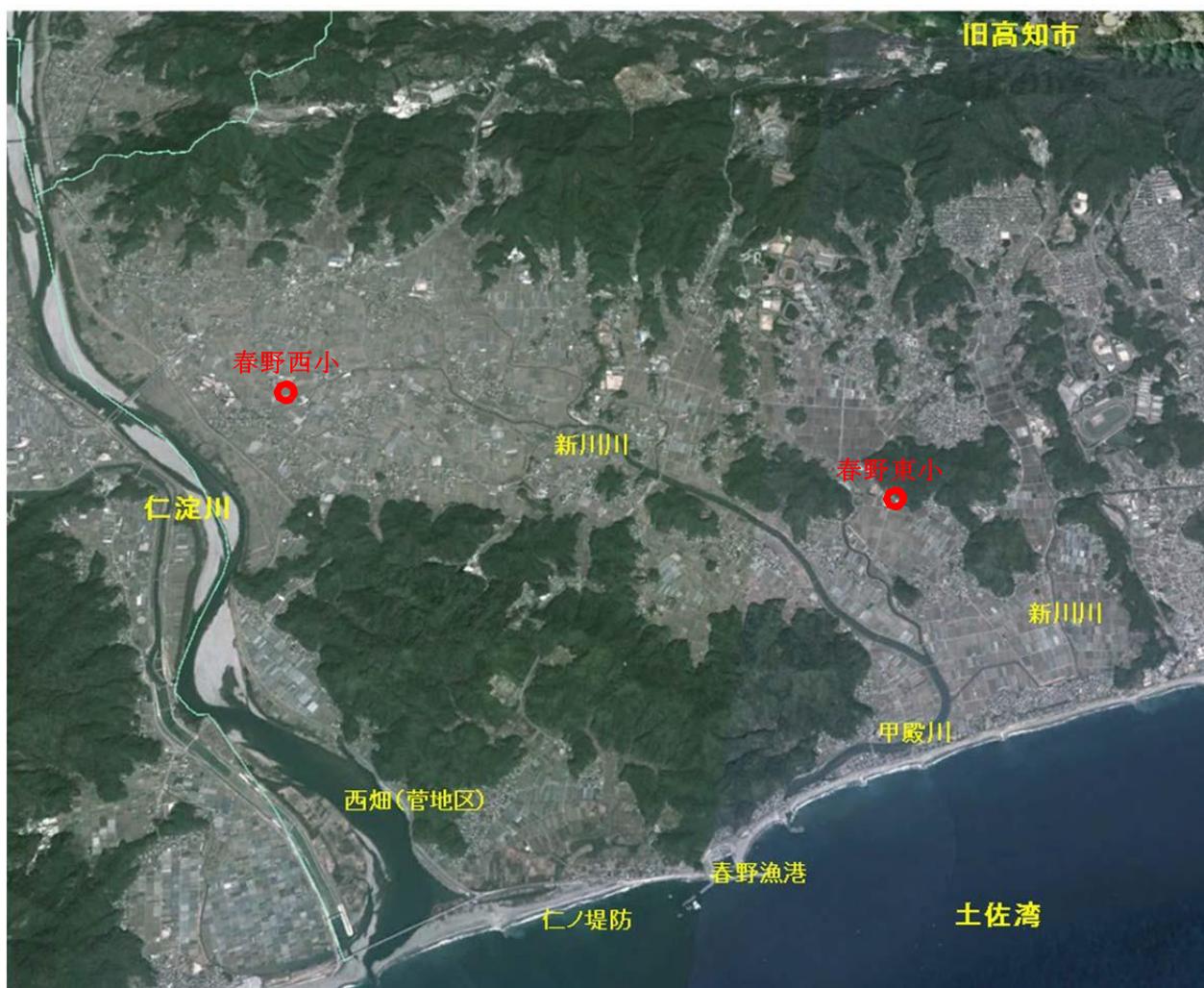


図4-1 春野東・西小学校区の現況航空写真

第2節 社会環境

- (1) 春野東・西小学校区は 15 の地区で構成されていて、その世帯数は 6,428 世帯、人口は 13,629 人（令和6年4月1日現在）です。校区北部の国道沿い弘岡3地区と東部の平和、南ヶ丘の二つの団地に人口が集中しています。この5つの地区に校区全人口の6割近くが居住している状況です。
- (2) 校区全体の高齢者率は 38.4%（令和6年4月1日現在）であり、高知市全体の平均 31.0%（同）からみると、かなり高くなっています。高齢者率 40%を超えるところが13地区（4,672世帯）あり、ほとんどの世帯に一人は高齢者がいる家族構成です。

表4-1 春野東・西小学校区の世帯数と人口（令和6年4月1日現在）

地区名	人口合計 (人)	世帯数 (世帯)	幼年人口 (人) (15歳未満)	老年人口 (人) (65歳以上)	高齢者率 (%)
弘岡上	1,070	502	94	453	42.3%
弘岡中	1,184	603	110	489	41.3%
弘岡下	1,092	522	90	432	39.6%
西分	879	444	69	418	47.6%
芳原	643	318	67	288	44.8%
内ノ谷	391	202	29	179	45.8%
西諸木	213	105	13	99	46.5%
東諸木	926	478	43	445	48.1%
秋山	687	332	60	279	40.6%
甲殿	338	200	12	187	55.3%
仁ノ	422	224	24	217	51.4%
西畑	360	173	30	172	47.8%
森山	785	380	70	333	42.4%
平和	1,449	711	150	625	43.1%
南ヶ丘	3,190	1,234	333	613	19.2%
計	13,629	6,428	1,194	5,229	38.4%

- (3) 校区北部を北から西に東西に横断する国道56号線において、朝夕の時間帯は通勤・通学の自動車、自転車の交通量が非常に多くなっています。

(4) その他の校区内の県道、市道は幅員の狭い道路が多くあります。部分的に道路拡幅、改修工事が続いています。未改修の狭い幅員の地域内道路が不連続に残っています。

(5) 水際構造物の状況

〔海岸堤防〕 土佐湾に面した沿岸部は、国土交通省の高知海岸直轄海岸保全施設整備事業により、堤防の沈下等を未然に防ぐための改修事業が完了している。

⇒【写真1】【写真2】【写真3】

〔仁淀川〕 西側の仁淀川は、河口から1~2kmの西畑（菅地区）付近までコンクリート護岸となっているが、その上流は土堤防である。

⇒【写真4】【写真5】

〔新川川〕 ほとんどの区間が土堤防ないし石積護岸となっており、堤防高も低い。津波遡上による堤防越流が心配される。

⇒【写真6】【写真7】【写真8】【写真9】



【写真1】 仁ノ地区海岸堤防



【写真2】 戸原地区海岸堤防



【写真3】 春野漁港



【写真4】 仁淀川下流護岸



【写真5】 仁淀川上流護岸



【写真6】 甲殿川護岸



【写真7】 新川川上流護岸（西分）



【写真8】 新川川中流護岸（西諸木）



【写真9】 新川川下流護岸（切り抜き）

第5章 春野東・西小学校区の津波避難の考え方

第1節 避難行動の考え方（共通）

（1）避難行動の基本方針

ポイント

- 緊急避難場所の避難優先度は
 - 1 津波浸水想定区域外
 - 2 自然地形の高台
 - 3 指定避難所を兼ねる津波避難ビル
 - 4 津波避難ビル及び津波避難タワー
- 緊急避難場所や津波避難経路は、津波避難時における様々な状況を考慮して、避難先・避難路について複数の選択肢を確認

* 指定避難所：災害が発生し、避難が必要となった方々が一定期間生活を送る場所（学校など公共施設を指定）

* 津波避難ビル：津波浸水からの緊急避難のために、高知市津波避難ビルガイドラインに則って指定した人工構造物

津波からの避難は、できるだけ早く、少しでも高いところへ逃げるのが基本となります。地震発生時は、建物被害等による逃げ遅れや、道路被害等による避難速度の低下など、様々な状況が想定されます。

津波避難時における様々な状況を考慮して、避難先・避難路について複数の選択肢を持っておくことも重要です。

様々な状況とは？

- 避難先について
 - 自然地形の高台→地震による土砂災害で緊急避難場所が崩れているかもしれない
 - 津波避難ビル →建物や階段が壊れているかもしれない
 - すでに避難者で満員になっているかもしれない
- 津波避難経路について
 - 橋が壊れて通れないかもしれない
 - 家屋、ブロック塀、電柱の倒壊で道が塞がれているかもしれない
 - 液状化により、道が通れなくなっているかもしれない
 - 停電で信号が停止して、道路が渡れないかもしれない な

高知市では、緊急避難場所を選定する優先度として以下のように推奨しています。

表 5-1 緊急避難場所のメリット・デメリット

優先度	緊急避難場所	メリット	デメリット
1	津波浸水想定区域外	<ul style="list-style-type: none"> 避難可能人数の制限がない 長期浸水の影響を受けない 指定避難所等への自力移動が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 避難移動距離が長くなるケースが多い
2	自然地形の高台	<ul style="list-style-type: none"> 避難可能人数の制限がない 長期浸水時でも山伝いにさらなる避難が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 地震による土砂災害の影響がある（本震・余震） 雨・風の影響を受ける 避難移動距離がやや長くなる
3	指定避難所を兼ねる津波避難ビル	津波避難ビルのメリットに加えて、 <ul style="list-style-type: none"> 一定期間避難生活を送ることがあらかじめ想定されている 収容人数が比較的多い 	<ul style="list-style-type: none"> 長期浸水時に自力での移動が困難
4	津波避難ビル及び津波避難タワー	<ul style="list-style-type: none"> 避難移動距離が最も短くなるケースが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 避難可能人数（スペース）に制限がある 地震により施設が被害を受ける可能性がある 長期浸水時に自力での移動が困難

（2）避難に使える時間（避難可能時間）と避難可能距離の考え方

東日本大震災の事例などから、津波避難可能時間や津波避難可能距離の考え方をまとめています。津波避難可能時間は、津波浸水予測時間から避難行動開始時間を減じ、さらに高所への避難が必要な場合は、高所への移動時間を引いた時間です。

地震が発生してから避難行動を開始するまでに平均5分（東日本大震災）かかっていましたが、地震が夜間に発生した場合は、さらに時間がかかるものと考えられるため、避難行動開始時間を約 **10分**と想定しています。高台の緊急避難場所、津波避難ビル、津波避難タワーなど高所に避難する場合には、さらに **5分**かかると設定しています。

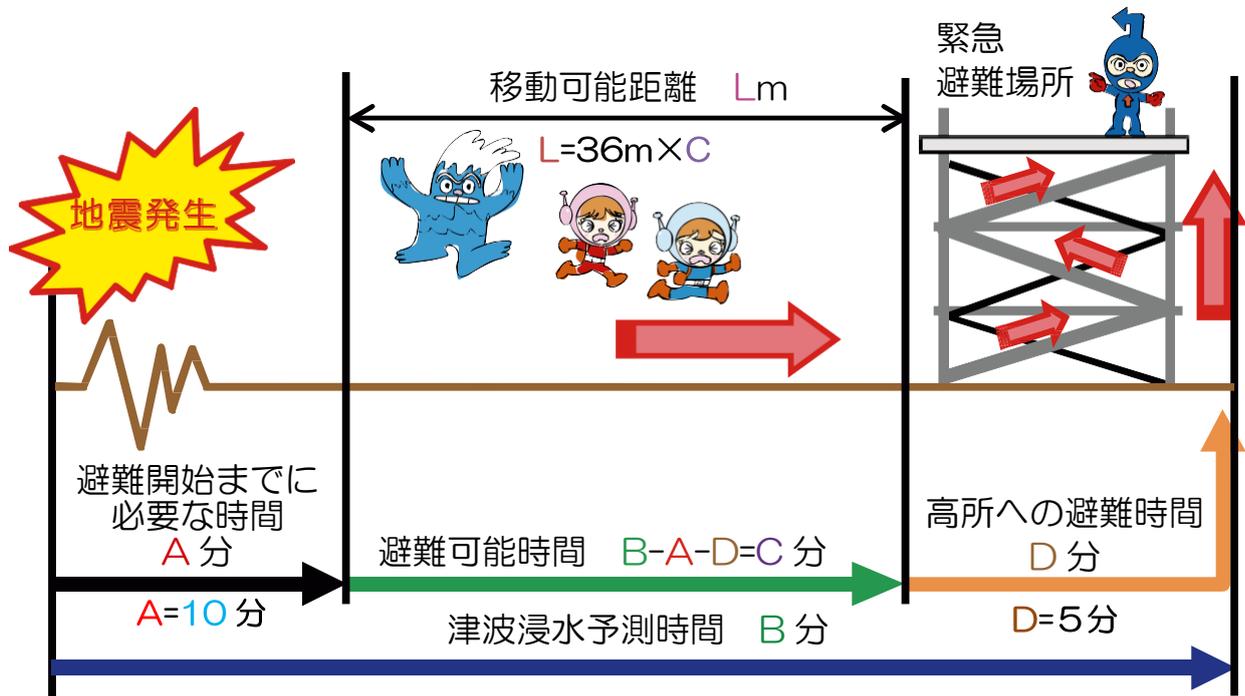
津波浸水予測時間は、地震発生後、**津波により地面から 30cmの高さまで浸水する時間**のことで各地区の「津波浸水予想時間図（浸水深 30cm）」から最短の津波到達時間を設定します。この到達時間から **15**（または **10**）分を差し引いた時間が、津波避難可能時間です。津波避難可能距離は、徒歩による避難速度を **0.6m/秒**（36m/分）として津波避難可能時間から算出します。

ただし、道路の通行障害や要支援者の支援などにより、必ずしもこの時間で避難することができるとは限りません。

また、高齢者の方など、長距離の避難が困難な方は、別途近距離の避難先を想定

しておくことが必要です。

次にこの避難距離の考え方を表した模式図を示します。



(出典：地域津波避難計画点検マニュアル(平成 25 年 12 月 高知県))

図5-1 津波避難可能時間・距離の考え方(徒歩)

津波浸水予測時間 $B=20$ 分 の場合

＜自然地形の高台・津波避難ビル・津波避難タワーへの徒歩避難＞

避難開始までに必要な時間 $A=10$ 分

高所への避難時間 $D=5$ 分

避難速度 36 (m/分)

⇒避難可能時間 $C=5$ 分

⇒移動可能距離 $L=36 \times 5 = 180$ m

津波浸水予測時間 $B=30$ 分 の場合

＜津波浸水想定区域外への徒歩避難＞

避難開始までに必要な時間 $A=10$ 分

高所への避難時間 $D=0$ 分

避難速度 36 (m/分)

⇒避難可能時間 $C=20$ 分

⇒移動可能距離 $L=36 \times 20 = 720$ m

第2節 春野東・西小学校区の避難行動の考え方

ポイント

- ・ 津波の侵入、遡上する沿岸部、河川から離れるとともに、北方向や高台に向かって避難する
- ・ 津波浸水想定区域外や自然地形の高台、津波避難ビル、津波避難タワーなど安全な場所に避難する
- ・ 津波到達の早いところは10～20分であるので、近くの緊急避難場所を決めておき速やかに避難行動を取る
- ・ 津波は長時間繰り返すため、一度避難したら自分の判断では戻らない
- ・ 避難は原則徒歩で行う

① 春野町では、土佐湾に面した沿岸部からの浸水と、仁淀川左岸の堤防越流及び河口の甲殿川から新川川水系を遡上した津波による平野部の浸水が想定されています。

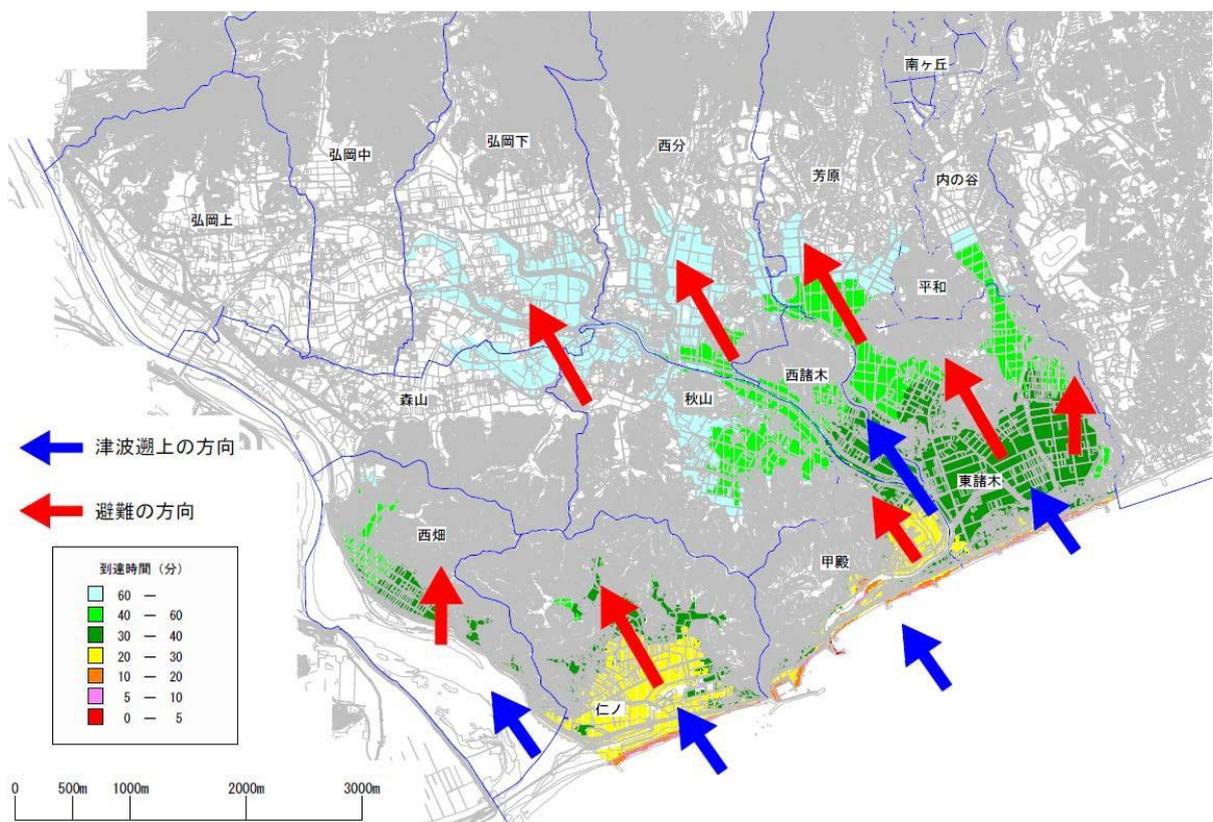


図5-2 津波の遡上及び避難方向

- ② 津波到達時間については、それぞれの地区で異なります。津波浸水予想時間図（浸水深 30cm）から各地区の最短到達時間を示します。避難可能時間は高所への避難時間5分を考慮しています。近くの緊急避難場所を確認してください。

	到達時間 (分)	避難可能時間 (分)	移動可能距離 (m)	地区名	備考
	60—	45	1,620	弘岡下 森山	
	40—60	25	900	秋山 西分 内ノ谷 芳原	
	30—40	15	540	東諸木 西諸木 西畑	
	20—30	5	180	西畑 [※] 仁ノ 甲殿 東諸木 [※]	西畑（仁淀川河口） 東諸木（沿岸）
	10—20	—	—	土佐湾沿岸部	仁ノ 甲殿 東諸木
	浸水域なし	—	—	平和 南ヶ丘 弘岡上 弘岡中	

図 5-3 津波到達時間と避難移動可能距離

- ③ 津波は長時間繰り返すので、一度緊急避難場所まで避難したら、警報や注意報が解除されるまで自分の判断では戻らないようにします。
- ④ 建物やブロック塀の倒壊、看板などの落下、火災の延焼、液状化による道路被害や橋の落橋も考えられ、また要支援者への支援などで、計画どおりの行動ができないことも考慮しておきます。
- ⑤ 自動車を用いた避難は、渋滞の発生などで安全に避難できないため、徒歩による避難を原則とします。

これらの予測結果や考え方により、緊急避難場所や津波避難経路を選定することが重要です。

第3節 春野東・西小学校区の緊急避難場所

(1) 自然地形の高台

春野東・西小学校区の緊急避難場所は、各地区とも地形上そのほとんどが自然地形の高台となっています。次にサンプルとして、秋山地区（一部）の緊急避難場所を示します。その他の地区は巻末の「津波避難行動支援マップ」を参照ください。

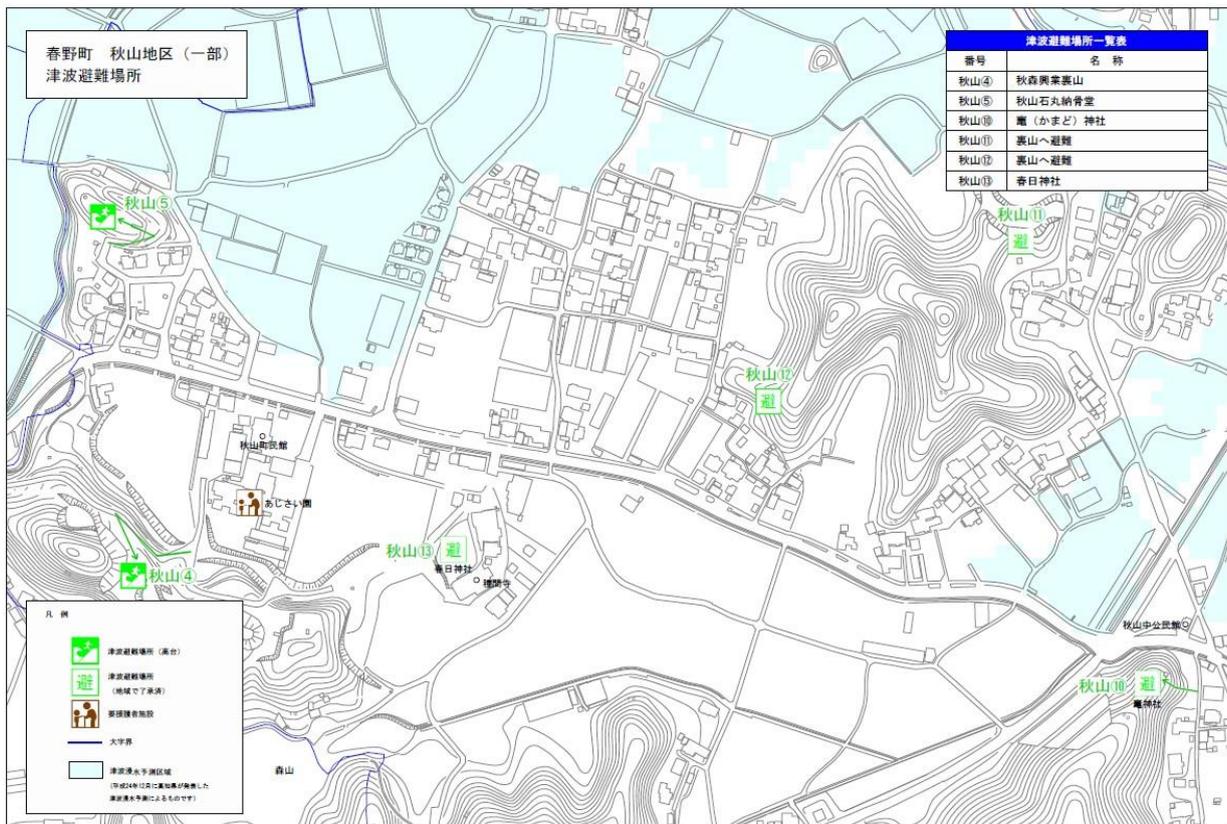


図5-4 秋山地区の緊急避難場所（自然地形の高台）

(2) 津波避難ビル、津波避難タワー

高知市では、以下のような条件を満たす建物で、所有者やお住まいの住民の同意を得て協定を締結した建物を、津波避難ビルとして指定しています。また近くに自然地形の高台や、4階建以上または避難可能な屋上を有する3階建の建物がない場合に、津波避難タワーを設置することとしています。

【津波避難ビルの指定の条件】

- ① 昭和 56 年 6 月以降に新耐震基準で施工された建物、あるいはそれ以前の建築でも既に耐震改修を行っている建物
- ② 原則として鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建物
※ ただし、津波浸水想定、地域の状況等によっては鉄骨造他の建物も認めることができる。
- ③ 3階以上の建物で、3階の屋上あるいは4階以上の高さの避難スペースがある建物
※ ただし、津波避難可能区域の外にある区域等、特別な事情がある場合は、津波浸水深から3m以上の高さに避難場所が確保できる建物についても対象とすることができる。
- ④ 365日24時間、避難が可能である建物
- ⑤ 津波に対して一定の安全性が確認できた建物

春野東・西小学校区には、4か所の津波避難ビル、4か所の避難タワーがあります。

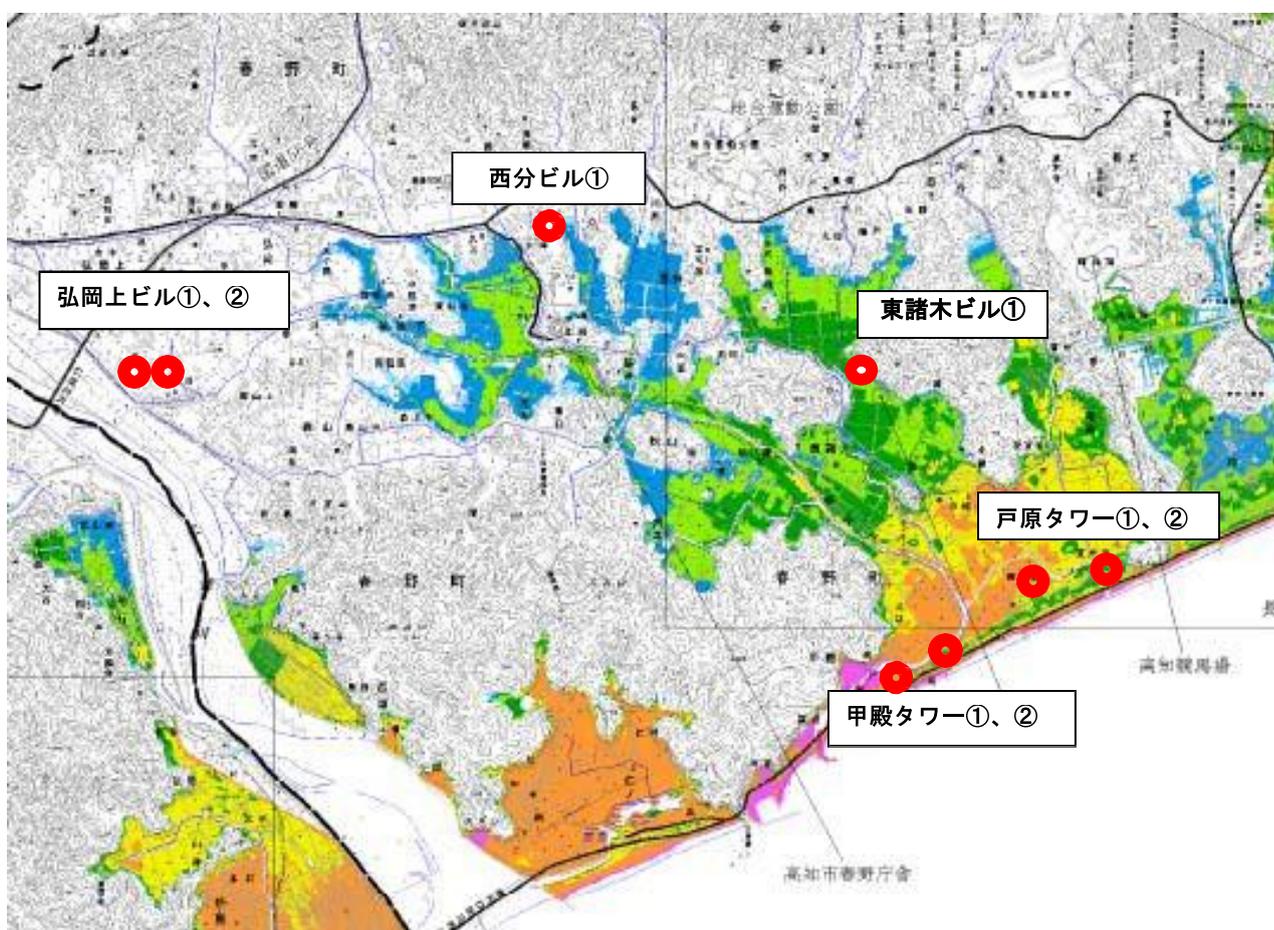


図5-5 津波避難ビル、避難タワー 位置図

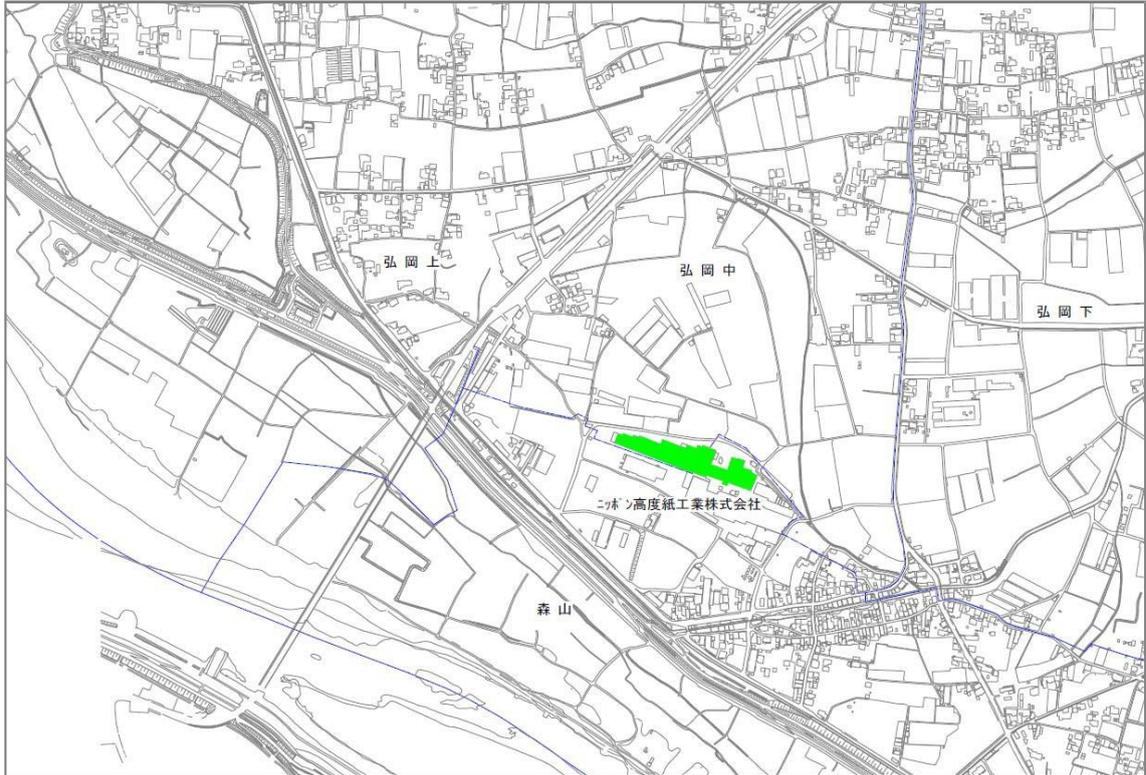


図5-6 津波避難ビル（弘岡上①②：ニッポン高度紙工業株式会社）



図5-7 津波避難ビル（西分①：春野中学校、東諸木①：春野東小学校）

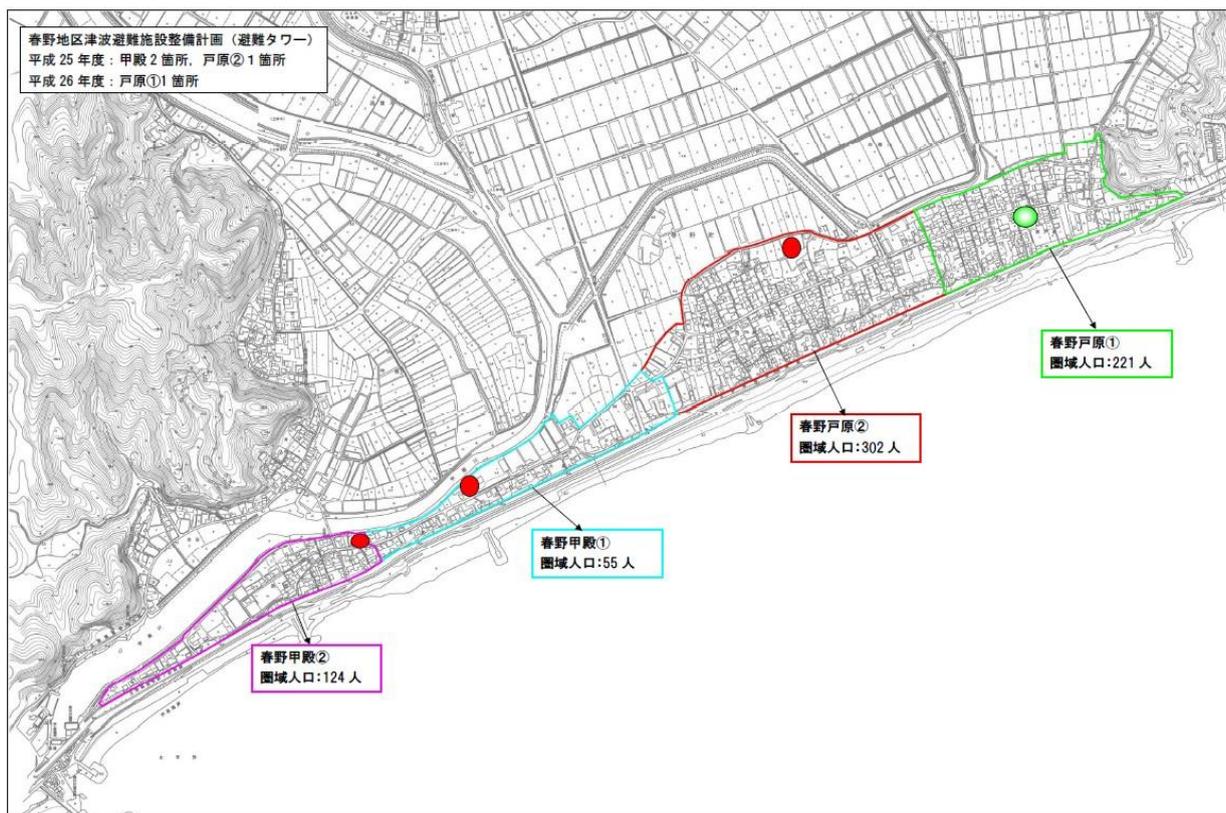


図5-8 津波避難タワー（戸原避難タワー①②、甲殿避難タワー①②）

第4節 津波避難経路

津波避難経路は、個人宅から避難場所に至る全てのルートを示します。その中で、多くの人の避難行動が集中するルートに「主要津波避難経路」として選定し、平成25年度に津波避難行動支援マップを作成しました。なお、主要津波避難経路の選定における条件は、次のとおりです。

- 緊急避難場所への最短経路
- 津波遡上方向へ向かわない。
- 道路幅員6メートル以上（目安）の広い道路
- 閉塞等のリスクが少ない経路

津波避難行動支援マップをもとに、平成26年度に自然地形の高台や津波避難ビルなどの場所を確認することができる「春野東小学校区津波避難マップ」「春野西小学校区津波避難マップ」（計5種類）が作成されました。サンプルとして、春野東小学校区津波避難マップ（西分・芳原・内ノ谷・南ヶ丘）を掲載します。詳細は巻末資料をご参照ください。

津波避難マップは高知市地域防災推進課のホームページからダウンロードすることができます。

【春野西小学校区・春野東小学校区津波避難マップ】

高知市 HP：<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/koutisitunamihinan-map.html>

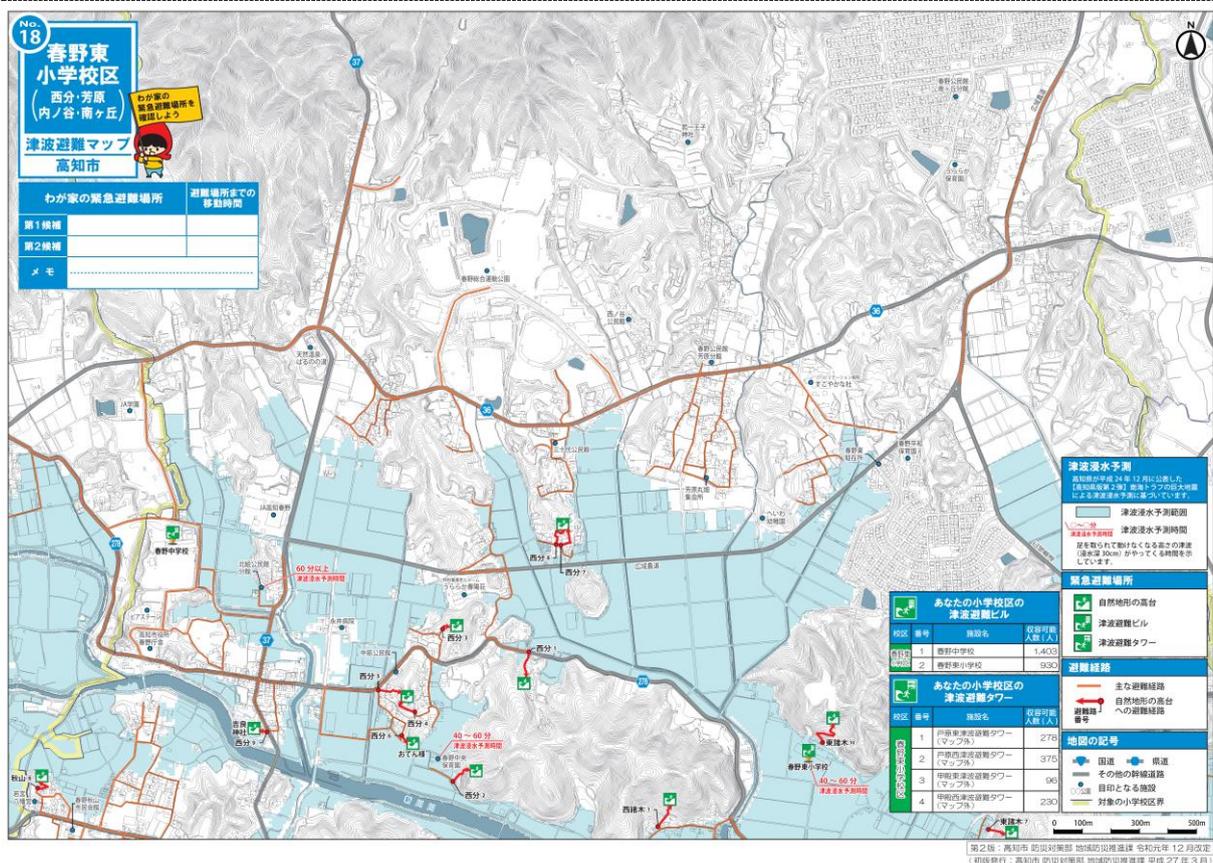


図5-9 春野東小学校区津波避難マップ（令和元年12月版）

第6章 津波避難における課題と今後の取組

第1節 避難行動の課題

計画作成当初における前提条件（津波到達時間、避難開始時間、避難速度等）では、小学校区内で避難困難となる地域はありませんが、地域特性等を踏まえれば、揺れによる被災状況等によって逃げ遅れるおそれがあり、決して楽観はできません。

計画作成当初においては、ワークショップや現地検討等を通じて、緊急避難場所や主要な津波避難経路の課題について主に検討しました。

津波が到達するまでに安全な場所へ避難し、津波警報が解除されるまでの安全を確保するためには、以下のような課題があることがわかりました。

（1）津波避難経路の課題

- ① 津波避難経路の幅員が狭く、ブロック塀、老朽家屋（空家）が多いのでこれらが倒壊すると、津波避難経路が閉塞する。
- ② 津波避難経路沿いの水路や、崖上の避難路に手すりがないので、避難時に転落する恐れがある。
- ③ 水路を横断する津波避難経路があり、落橋で通れない可能性がある。
- ④ 夜間の避難対策（照明、誘導灯など）が乏しい。
- ⑤ 避難場所や標高を示す看板が少ない。
- ⑥ 液状化の可能性が高い地域であり、揺れにより経路の凸凹や段差の発生で避難速度が落ちる。

（2）その他の課題

- ① 住民の高齢化により、活動が困難となっている。
- ② 住民の防災意識が低い。

第2節 課題の解決に向けた取組

今後は、対策の方向性や具体的な取組について検討を継続し、課題の解決に取り組めます。

(1) 自助、共助を主体とした取組

地区内の住民が主体となって組織的な活動により、課題の解決に向けた取組を行うことで、津波避難における地域の安全性を高めていきます。

① 避難開始時間の短縮や避難速度の向上

- 避難訓練、学習会、防災士の資格取得等を通じて避難意識を向上させる。
- 防災啓発パンフレット等を活用する。

② 学校等との連携

校区内の学校等（保育園、小中学校、高校、特別支援学校）との連携を図り、具体的な活動内容について検討し、地域の率先避難者となる人材の育成を図る。

③ 春野東・西小学校区の取組の継続

● 津波避難訓練の実施

各小学校の避難所開設訓練や県内一斉避難訓練への参加など、各地域で防災に関する催しを実施。

● 避難行動要支援者の避難対策

各地区で独自に避難手段、方法について検討しリヤカーの配置等対策に取り組む。

(2) 公助を主体とした取組

これまでに、固定系防災行政無線のデジタル更新やそれに併せた長距離大型スピーカの整備、また緊急避難場所の整備や避難誘導標識、誘導灯の設置をしてきました。

今後も自助・共助の取組に対するサポートや、公共事業による整備等を行う場合には、地域の実情や要望を踏まえながら検討してまいります。また、津波警報や南海トラフ地震臨時情報等の情報伝達も公助の取組として継続して行っていきます。

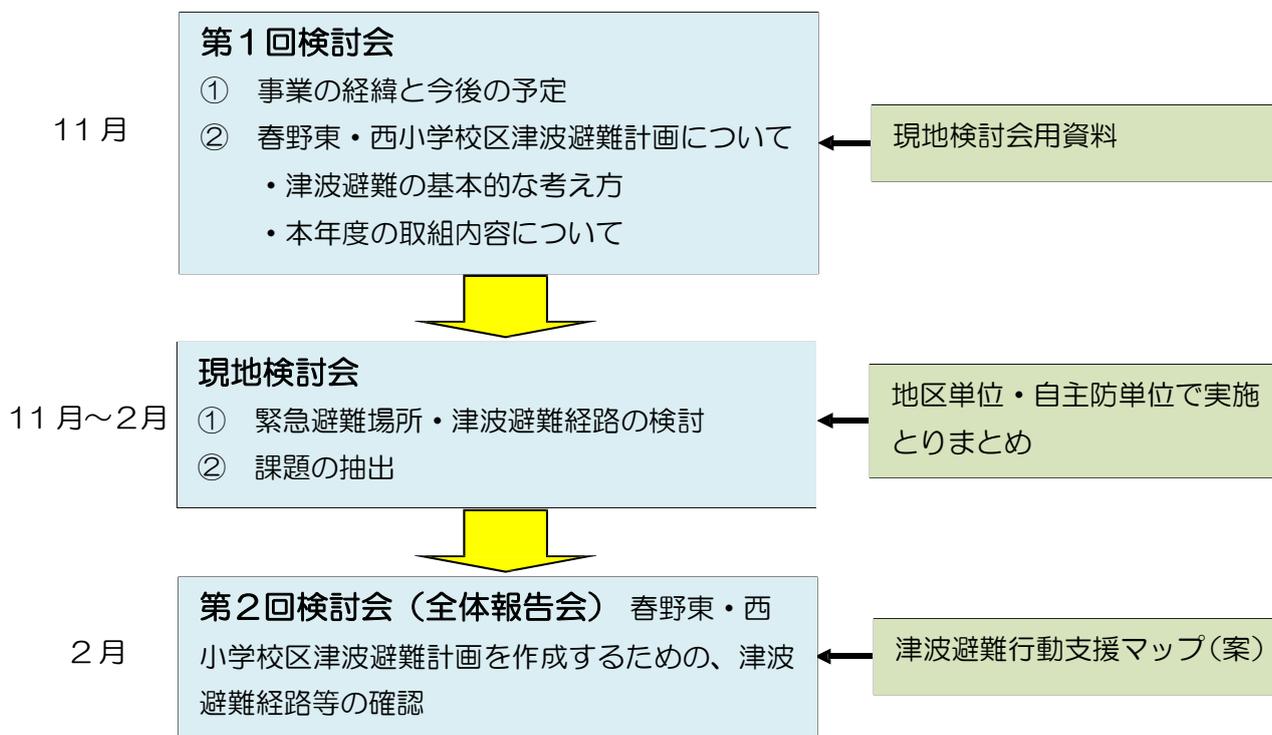
※ 南海トラフ地震臨時情報については、第8章及び巻末資料をご参照ください。

第7章 検討経緯

【年度毎の事業概要】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度～
高台への避難路の選定	○	○		
選定した避難路の整備方針を検討		○		
春野東・西小学校区津波避難計画の策定			○	
避難路の実施設計・工事		○	○	○

【平成 25 年度の取組（春野東・西小学校区津波避難計画の策定）】



【検討会】

名称	開催日	開催場所	参加人数
第1回検討会	平成 25 年 11 月 29 日（金）	春野文化ホール ピアステージ 小ホール	27 名
第2回検討会 （全体報告会）	平成 26 年 2 月 13 日（木）	春野町中央公民館 2F 大ホール	36 名

■ 平成 25 年 11 月 29 日 第 1 回 検 討 会



■ 平成 26 年 2 月 13 日 第 2 回 検 討 会 (全 体 報 告 会)



第8章 津波避難計画の検証

春野東・西小学校区では、津波浸水想定区域内にある地区ごとに、令和5年度から春野東・西小学校区津波避難計画の検証を行っています。

仁ノ地区（令和5年度検証）

【検証参加者】仁ノ地区の自主防災組織 6組織、高知市地域防災推進課

令和5年度に津波避難に関する会を3回開催し、各部落の現状や課題について意見を共有しました。高齢化によって津波避難場所への避難が難しくなっていることや、若手人材の不足で避難路の整備が不十分といった課題があり、擬木の階段ではなくスロープの整備（車いす、リヤカーで避難できる）や津波避難タワーの設置を希望する声が上がりましたが、津波避難タワーは津波避難困難地域を対象に整備し、事業も完了しているため、新たな整備は困難な状況にあります。地域ではこうした現状を踏まえ、仁ノ地区北側の土地（呼称：南山）を避難場所として使用できるよう地域と土地の持ち主の間で話し合い、仁ノ地区の避難場所としました。また、避難後、孤立した場合に備えて一定期間生活ができるように、防災倉庫やテント、災害用トイレ等の整備も行いました。令和6年9月には、南山への避難訓練を実施したほか、テントの組立や災害用トイレの使用方法の確認等を行いました。

甲殿地区（令和6年度検証）

【検証参加者】甲殿地区の自主防災組織 5組織、自治会関係者、高知市地域防災推進課

令和6年5月に『津波避難に関するアンケート』を甲殿地区の全世帯に配布し、地域の現状を確認しました。アンケートでは、自宅からの避難を想定しての避難にかかる時間や津波避難場所、避難時の不安などについて調査を行いました。回収率は70.8%であり、得られた回答からは非常用持ち出し袋の準備や避難経路の確認、防災訓練への参加など、備えている方が多い一方で、約4割の方は自宅までの津波到達時間や最大の津波浸水深を知らないことが分かりました。そこで、令和6年8月に実施した甲殿地区一斉津波避難訓練のなかで甲殿地区の被害想定等を周知しました。しかし、津波避難をする上で「避難場所の整備や害虫問題」、「避難路の閉塞」を危惧する声が多くあり、今後の課題として取り組むこととなりました。

第9章 南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合など、南海トラフ地震の発生の可能性が高まった場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。発表時には、発生するおそれのある地震に備え、浸水想定区域外の知り合いや親戚宅への自主的な事前避難や日頃の備えの再確認など、住民それぞれの日常生活を考慮した行動が必要です。

南海トラフ地震臨時情報の詳細については、巻末資料をご参照ください。

表8-1 南海トラフ地震に関する情報

		発表基準	発表後とるべき行動	市民への情報伝達
南海トラフ地震発生時に発表される情報 (津波に関する警報・注意報)	津波注意報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 1m (20cm<高さ≤1m)	海の中にいる人は、直ちに海から上がって海岸から離れる。津波注意報が解除されるまで、海に入ったり海岸に近づいたりしない。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線 ・緊急速報メール ・広報車 ・ホームページ、SNS等による警報・注意報の伝達・周知
	津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 3m (1m<高さ≤3m)	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない。	
	大津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 5m (3m<高さ≤5m) 10m (5m<高さ≤10m) 10m超 (10m<高さ)		
南海トラフ地震の可能性が高まった場合に発表される情報	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	巨大地震の発生に注意が必要な場合	各々の日常生活を考慮し、自主的な事前避難または日頃の備えの確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車、ホームページ、SNS等による伝達・周知 ・日頃の備えの再確認を呼びかけ ・自主避難の啓発(※)
	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合		<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車、ホームページ、SNS等による伝達・周知 ・事前避難対象地域への避難指示 ・日頃の備えの再確認を呼びかけ ・自主避難の啓発(※)

※後発地震やそれに伴う津波に備えるために、津波到達時間が短く、地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者、耐震性の不足する住宅の居住者及び斜面崩壊のおそれがある範囲の居住者に対し、親類や知人宅等への避難を基本とした自主避難の啓発を行う。

巻末資料

- ① 春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧
- ② 春野東・西小学校区 津波避難マップ
- ③ 春野東・西小学校区 津波避難行動支援マップ
(平成 25 年度作成)
- ④ 臨時情報について

① 春野東・西小学校区 緊急避難場所一覽

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔1/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
弘岡上①	琴平神社東		23.3	琴平神社 境内
弘岡上②	琴平神社西		41.8	琴平神社 境内
弘岡上③	弘岡上公民館		8.0	公民館 敷地内
弘岡中①	太陽石油春野給油所		13.0	給油所 敷地内
弘岡中②	ラーメン豚太郎 春野店駐車場		6.4	店舗 駐車場

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔2/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
弘岡中③	天一神社		13.8	神社 境内
西分①	岡の山		19.5	墓地
西分②	中山千賀夫宅の山		23.5	山腹
西分③	竈（かまど）神社		22.2	神社 境内
西分④	権現様		20.5	山頂

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔3/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
西分⑤	雨森宅の畑		— (不特定)	裏山へ避難
西分⑥	春野運動公園		30.7	施設 敷地内
西分⑦	うららかに春陽荘		7.6	施設 敷地内
西分⑧	運動公園体育館		19.8	施設 敷地内
西分⑨	おてん様		17.8	境内

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔4/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
西分⑩	山崎邸裏山		20.5	裏山へ避難 西分④（権現様）山頂 のすぐ下 ⇒西分④と統合
西分⑪	はるの湯前		11.8	温泉施設前の待避所
西分⑫	吉良神社		12.2	神社 境内
西分⑬	ピアステージ		14.5	施設 敷地内
西分⑭	J A 学園		16.7	施設 敷地内

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔5/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
芳原①	すこやかな杜		15.1	施設 敷地内
芳原②	芳原公民館		13.4	施設 敷地内
芳原③	丸畑公民館		6.0	施設 敷地内
芳原④	春野運動公園		13.3	施設 敷地内
芳原⑤	三十代公民館		6.2	施設 敷地内

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔6/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
西諸木①	西諸木 北		22.2	山腹
西諸木②	西諸木 上		22.6	山腹
東諸木①	高橋 邸裏		28.0	山腹
東諸木②	亀割 集会所西		28.0	山腹 東諸木①と同じ場所
東諸木③	亀割 中		22.9	山頂

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔7/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
東諸木④	亀割南		22.9	山頂 東諸木③と同じ場所
東諸木⑤	根宮谷		23.3	山腹
東諸木⑥	諸木八幡様		26.3	山腹
東諸木⑦	北組		18.1	山腹
東諸木⑧	久原坂		24.5	山腹

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔8/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
東諸木⑨	奥の谷		24.2	砂防ダム付近
東諸木⑩	春野東小学校裏		36.2	山腹
東諸木⑪	雀ヶ森南		13.6	山腹
東諸木⑫	雀ヶ森北		41.5	山腹
東諸木⑬	雀ヶ森西		23.5	山腹

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔9/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
秋山①	秋山大黒山 (濱田運送裏)		24.0	山腹
秋山②	細川邸裏		調査中	山腹
秋山③	サーキット跡地		17.7	広場
秋山④	秋森興業裏山		20.7	広場
秋山⑤	秋山石丸納骨堂		12.7	納骨堂 敷地内

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔10/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
秋山⑥			— (不特定)	裏山へ避難
秋山⑦			— (不特定)	裏山へ避難
秋山⑧			— (不特定)	裏山へ避難
秋山⑨	大睦		— (不特定)	裏山へ避難
秋山⑩	竈（かまど）神社		19.7	神社 境内

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔11/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
秋山⑪			— (不特定)	裏山へ避難
秋山⑫			— (不特定)	裏山へ避難
秋山⑬	春日神社		9.5	神社 境内
甲殿①	北坊1		21.6	山腹
甲殿②	北坊2		31.2	山腹

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔12/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
甲殿③	南1		29.6	山腹
甲殿④	南2		21.0	山腹
甲殿⑤	南3		24.0	山腹
甲殿⑥	南4		調査中	山腹
甲殿⑦	港1		22.8	山腹

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等） [13/17]

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
甲殿⑧	港2		29.2	山腹
仁ノ①	久保建設資材置場		52.0	資材置場
仁ノ②	ごりん様		18.5	山腹
仁ノ③	大將軍		24.1	山腹
仁ノ④	切りぬき		26.1	山腹 墓地に隣接

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔14/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
仁ノ⑤	土居山		39.0	山腹
仁ノ⑥	土居山		35.3	山腹
仁ノ⑦	観音様		27.3	山腹
仁ノ⑧	水谷北		23.7	山腹
仁ノ⑨	水谷中		34.0	山腹

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔15/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
仁ノ⑩	水谷南		34.0	山腹 仁ノ⑨と同じ場所
仁ノ (番号無し)	南山		19.1	仁ノ地区全体の共通避難場所。 避難後一定期間集団生活ができる場所として準備を進めている。 アクセスも便利で、車で直接避難場所まで到達できる。 ※令和5年度の検証により追加
西畑①	小畑邸裏		20.5	山腹
西畑②	菅観音様		20.2	境内
西畑③	弘願寺東		20.8	墓地

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔16/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
西畑④	山の手		26.8	山腹
西畑⑤	岐神社		11.4	山腹
西畑⑥	大上西		26.0	山腹
西畑⑦	田の浦		14.5	墓地
西畑⑧	忠魂碑裏		— (不特定)	山腹

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（自然高台等）〔17/17〕

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況
森山①	星神社前		28.7	山腹
森山②	城山神社		23.6	境内
森山③	森山貯水池		50.5	貯水池 敷地内

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（津波避難ビル） [1/1]

番号	呼称	緊急避難場所	標高 (m)	構造・階層	避難場所	収容可能人数
弘岡上避難ビル①	ニッポン高度紙工業(株)西		約 10.0	鉄骨造	屋上	450 人
弘岡上避難ビル②	ニッポン高度紙工業(株)東		10.0	鉄骨鉄筋コンクリート造	屋上	800 人
西分避難ビル①	春野中学校		約 20.0	鉄筋コンクリート造	屋上	1,403 人
東諸木避難ビル①	春野東小学校		約 3.5	鉄筋コンクリート造	屋上	930 人

春野東・西小学校区 緊急避難場所一覧（津波避難タワー） [1/1]

番号	呼称	写真	高さ (上層：m)	避難場所	収容可能人数
戸原避難タワー①	戸原東		11.2	<ul style="list-style-type: none"> 上層避難床 下層避難床 	278人
戸原避難タワー②	戸原西		12.0	<ul style="list-style-type: none"> 上層避難床 下層避難床 	375人
甲殿避難タワー①	甲殿東		12.0	<ul style="list-style-type: none"> 上層避難床 	96人
甲殿避難タワー②	甲殿西		12.9	<ul style="list-style-type: none"> 上層避難床 下層避難床 	230人

② 春野東・西小学校区 津波避難マップ

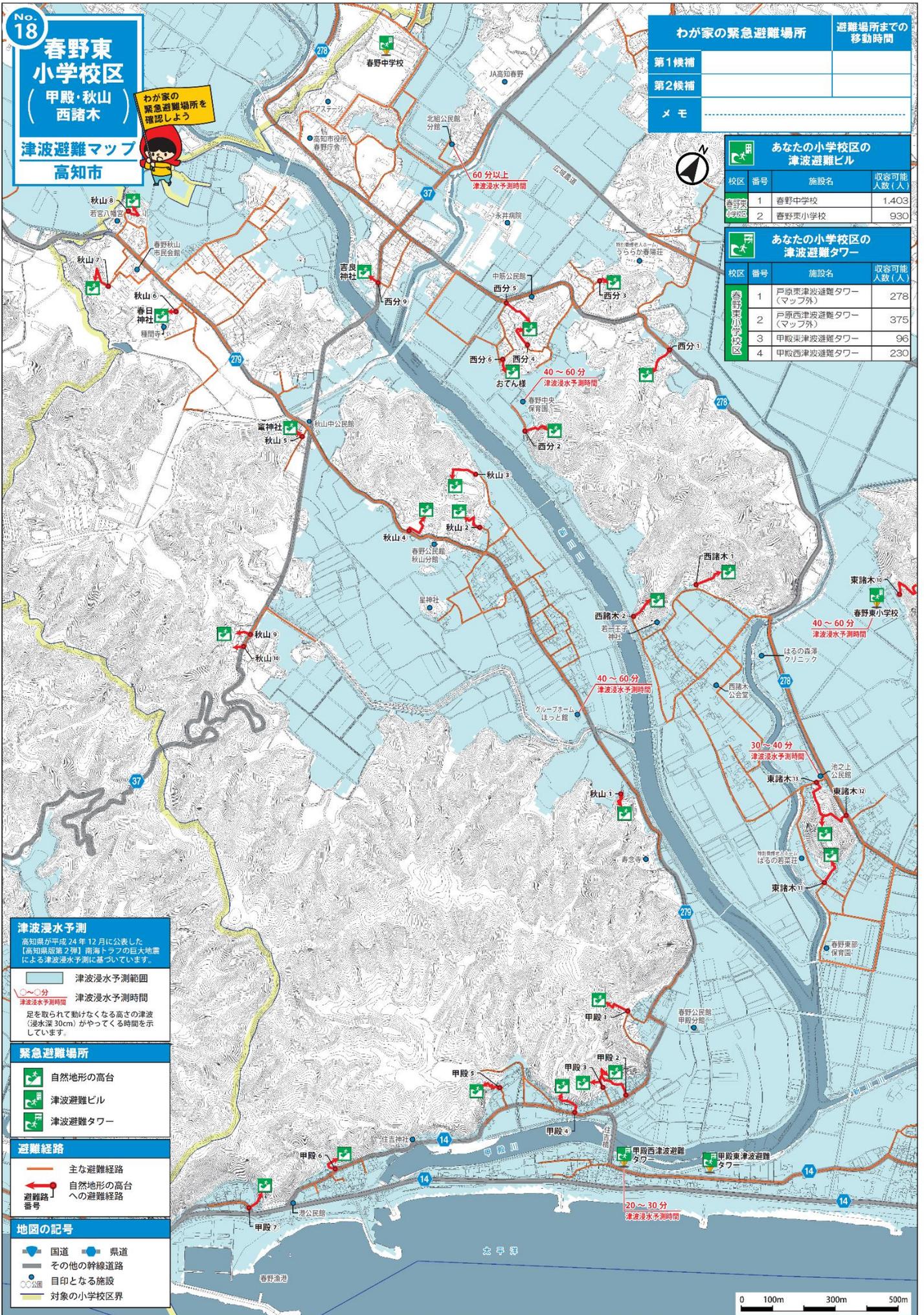
No. 18
**春野東
 小学校区**
 (甲殿・秋山
 西諸木)
津波避難マップ
 高知市

わが家の
 緊急避難場所を
 確認しよう

わが家の緊急避難場所		避難場所までの 移動時間
第1候補		
第2候補		
メモ		

あなたの小学校区の 津波避難ビル			
校区	番号	施設名	収容可能 人数(人)
春野東 小学校区	1	春野中学校	1,403
	2	春野東小学校	930

あなたの小学校区の 津波避難タワー			
校区	番号	施設名	収容可能 人数(人)
春野東 小学校区	1	戸原東津波避難タワー (マップ外)	278
	2	戸原西津波避難タワー (マップ外)	375
	3	甲殿東津波避難タワー	96
	4	甲殿西津波避難タワー	230



津波浸水予測
 高知県が平成24年12月に公表した
 (高知県防第2弾)南海トラフの巨大地震
 による津波浸水予測に基づいています。

津波浸水予測範囲
 津波浸水予測時間
 足を取られて動けなくなる高さの津波
 (浸水深30cm)がやってくる時間を示
 しています。

緊急避難場所

- 自然地形の高台
- 津波避難ビル
- 津波避難タワー

避難経路

- 主な避難経路
- 自然地形の高台
への避難経路
番号

地図の記号

- 国道
- 県道
- その他の幹線道路
- 目印となる施設
- 対象の小学校区界

第2版：高知市 防災対策部 地域防災推進課 令和元年12月改定
 (初版発行：高知市 防災対策部 地域防災推進課 平成27年3月)

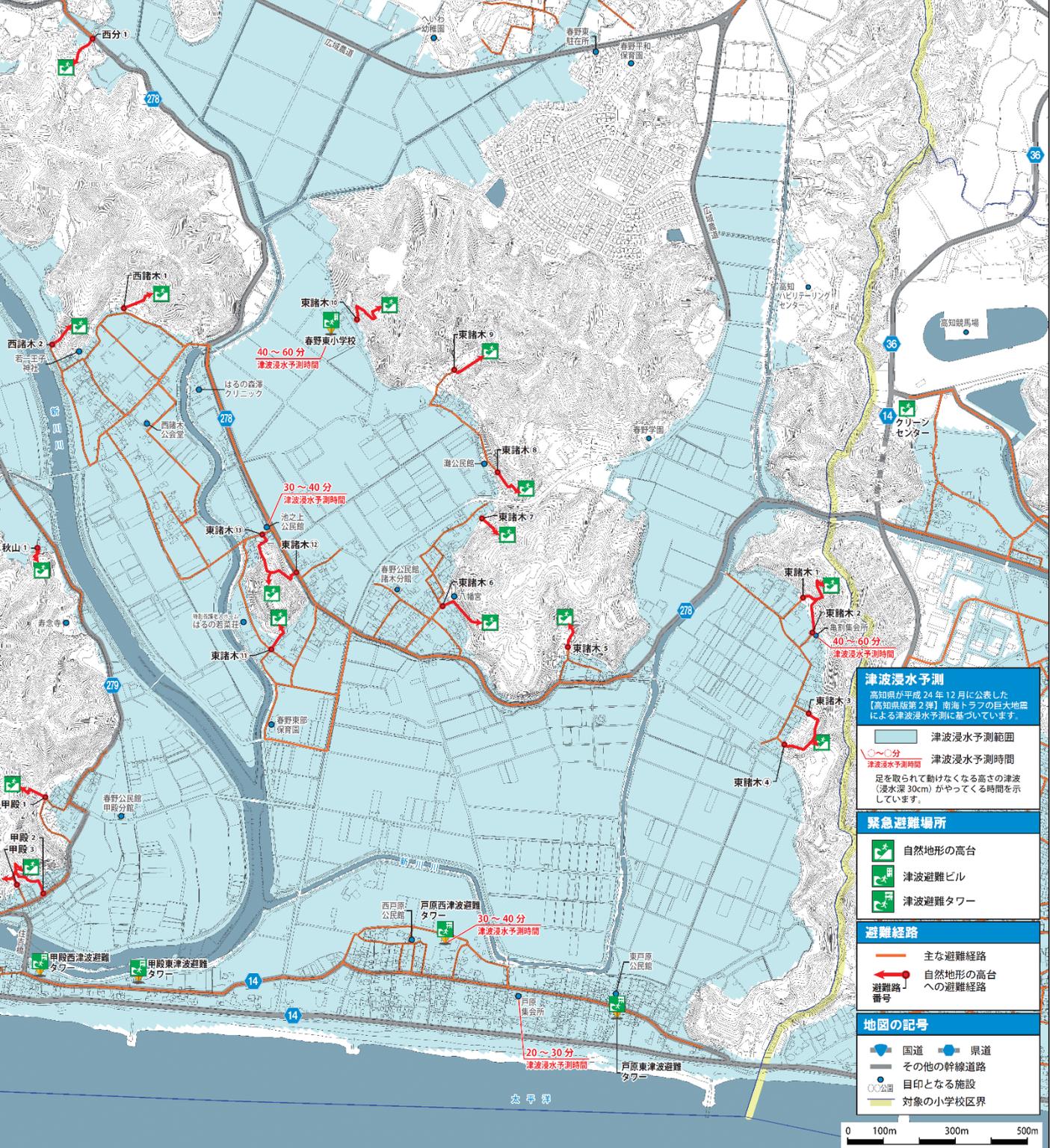
No. 18
**春野東
 小学校区
 (東諸木
 戸原・平和)**
津波避難マップ
 高知市



わが家の緊急避難場所	避難場所までの移動時間
第1候補	
第2候補	
メモ	

あなたの小学校区の津波避難ビル			
校区	番号	施設名	収容可能人数(人)
春野東小学校区	1	春野中学校(マップ外)	1,403
	2	春野東小学校	930

あなたの小学校区の津波避難タワー			
校区	番号	施設名	収容可能人数(人)
春野東小学校区	1	戸原東津波避難タワー	278
	2	戸原西津波避難タワー	375
	3	甲殿東津波避難タワー	96
	4	甲殿西津波避難タワー	230

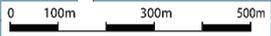


津波浸水予測
 高知県が平成24年12月に公表した【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波浸水予測に基づいています。
 足を取られて動けなくなる高さの津波(浸水深30cm)がやってくる時間を示しています。

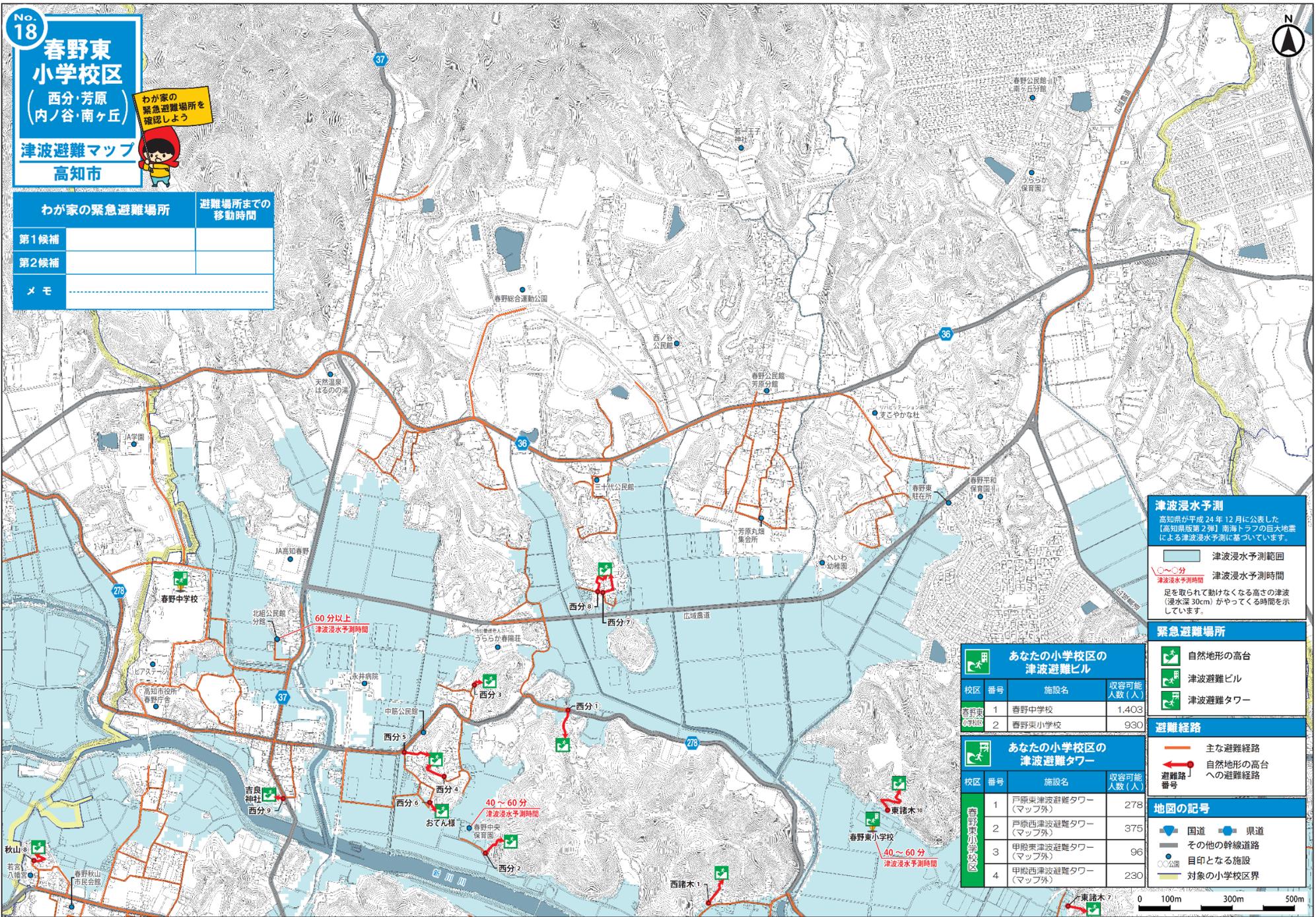
- 緊急避難場所**
- 自然地形の高台
 - 津波避難ビル
 - 津波避難タワー

- 避難経路**
- 主な避難経路
 - 自然地形の高台への避難経路

- 地図の記号**
- 国道
 - 県道
 - その他の幹線道路
 - 目印となる施設
 - 対象の小学校区界



第2版：高知市 防災対策部 地域防災推進課 令和元年12月改定
 (初版発行：高知市 防災対策部 地域防災推進課 平成27年3月)



No. 18
春野東小学校区
 (西分・芳原
 内ノ谷・南ヶ丘)
津波避難マップ
 高知市



わが家の緊急避難場所	避難場所までの移動時間
第1候補	
第2候補	
メモ	

津波浸水予測
 高知県が平成24年12月に公表した【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波浸水予測に基づいています。

津波浸水予測範囲
 〇〇分
 津波浸水予測時間
 足を取られて動けなくなる高さの津波(浸水深30cm)がやってくる時間を示しています。

緊急避難場所

- 自然地形の高台
- 津波避難ビル
- 津波避難タワー

避難経路

- 主な避難経路
- 自然地形の高台への避難経路

地図の記号

- 国道
- 県道
- その他の幹線道路
- 目印となる施設
- 対象の小学校区界

あなたの小学校区の津波避難ビル

校区	番号	施設名	収容可能人数(人)
春野東小学校区	1	春野中学校	1,403
	2	春野東小学校	930

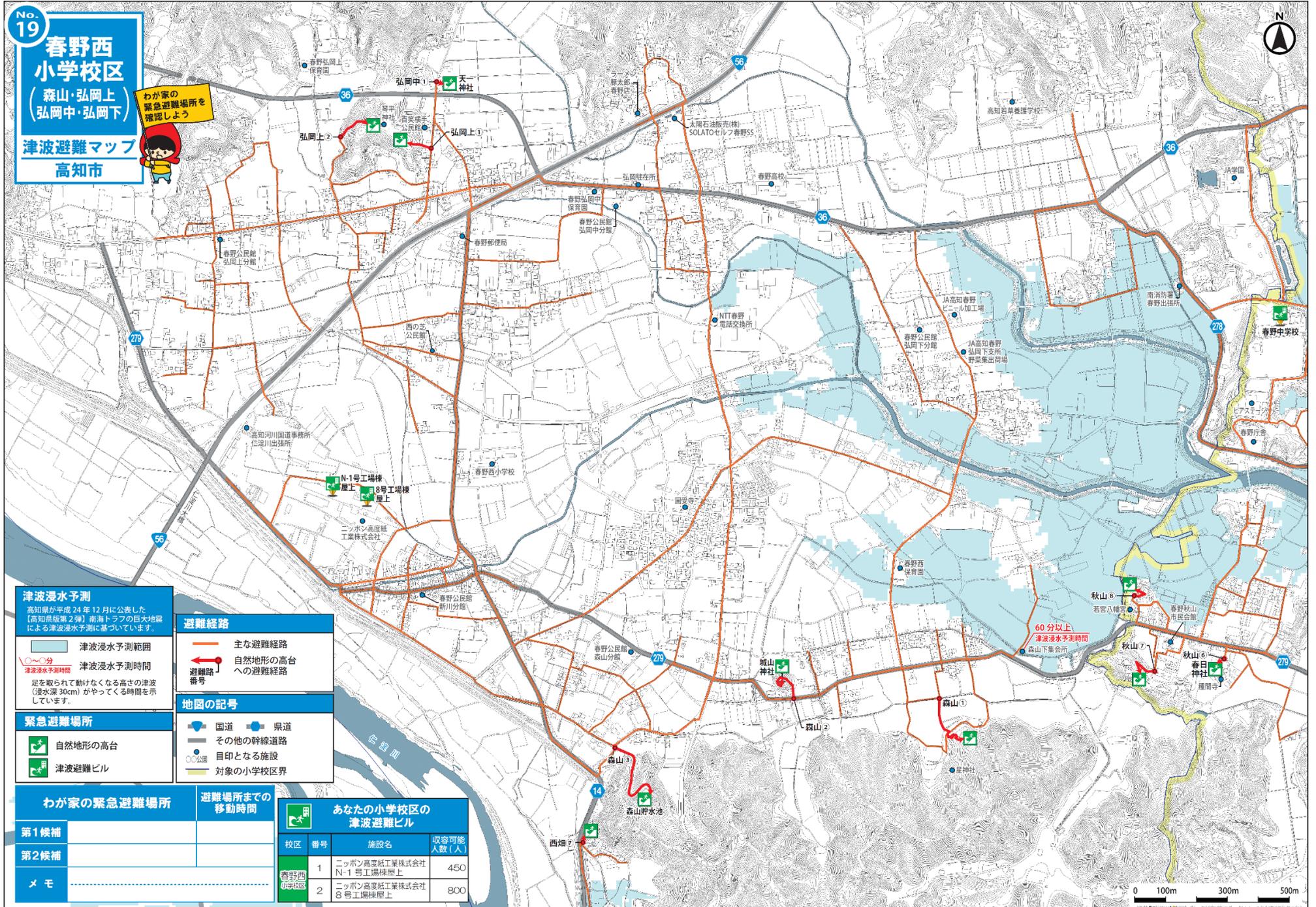
あなたの小学校区の津波避難タワー

校区	番号	施設名	収容可能人数(人)
春野東小学校区	1	戸原東津波避難タワー(マップ外)	278
	2	戸原西津波避難タワー(マップ外)	375
	3	甲斐東津波避難タワー(マップ外)	96
	4	甲斐西津波避難タワー(マップ外)	230

第2版：高知市 防災対策部 地域防災推進課 令和元年12月改定
 (初版発行：高知市 防災対策部 地域防災推進課 平成27年3月)

No. 19
**春野西
 小学校区**
 (森山・弘岡上
 弘岡中・弘岡下)
津波避難マップ
 高知市

わが家の
 緊急避難場所を
 確認しよう



津波浸水予測
 高知県が平成 24 年 12 月に公表した
 【高知県版第 2 弾】南海トラフの巨大地震
 による津波浸水予測に基づいています。

津波浸水予測範囲
 津波浸水予測時間
 足を取られて動けなくなる高さの津波
 (浸水深 30cm) がやってくる時間を示
 しています。

避難経路

- 主な避難経路
- 自然地形の高台
への避難経路
番号

地図の記号

- 国道
- 県道
- その他の幹線道路
- 目印となる施設
- 対象の小学校区界

緊急避難場所

- 自然地形の高台
- 津波避難ビル

わが家の緊急避難場所	避難場所までの 移動時間
第1候補	
第2候補	
メモ	

あなたの小学校区の 津波避難ビル			
校区	番号	施設名	収容可能 人数(人)
春野西 の小学校区	1	ニッポン高屋紙工業株式会社 N-1号工場棟屋上	450
	2	ニッポン高屋紙工業株式会社 8号工場棟屋上	800

第2版：高知市 防災対策部 地域防災推進課 令和元年 12月改定
 (初版発行：高知市 防災対策部 地域防災推進課 平成 27 年 3 月)

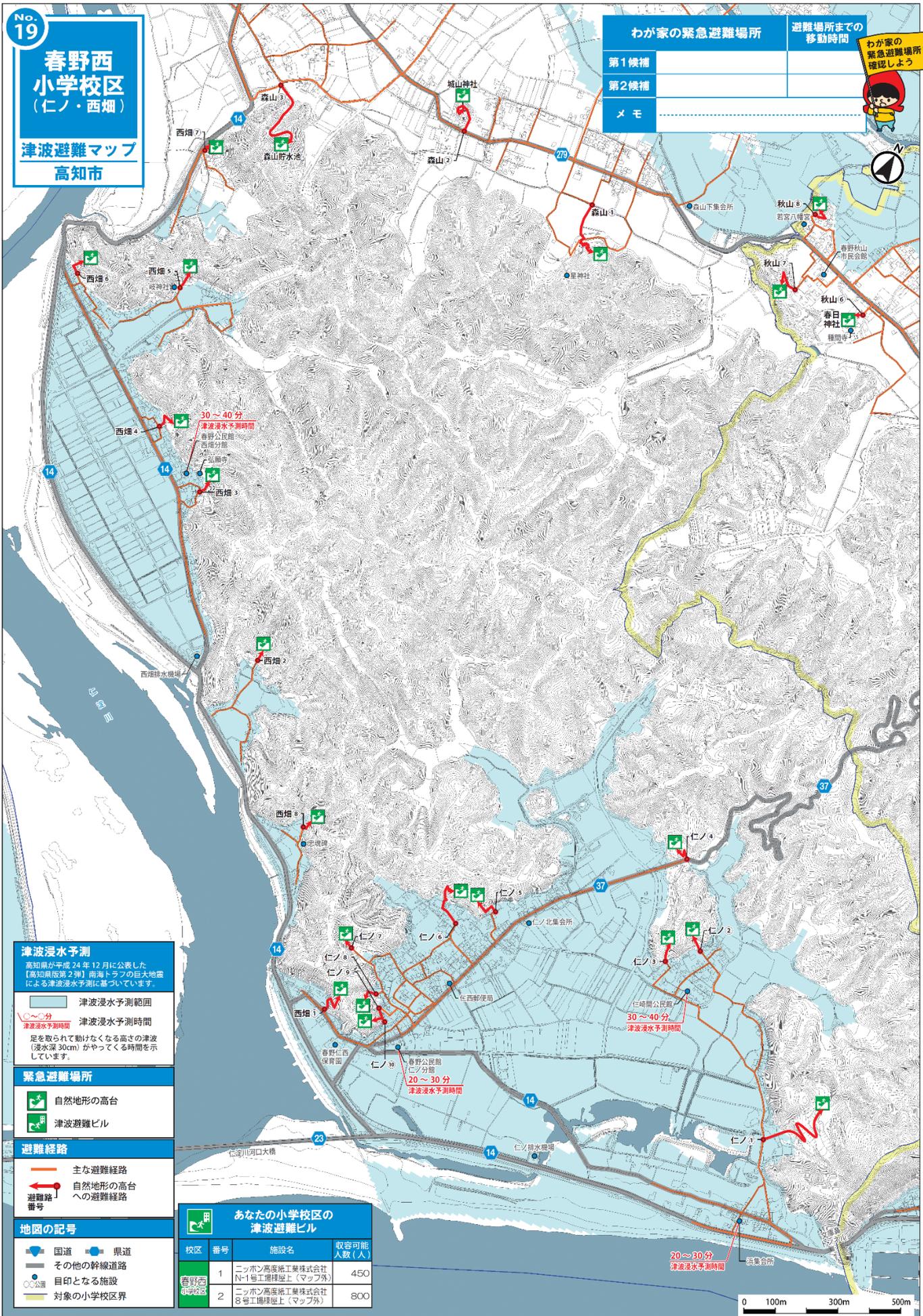
No. 19

春野西 小学校区 (仁ノ・西畑)

津波避難マップ
高知市

わが家の緊急避難場所	避難場所までの移動時間
第1候補	
第2候補	
メモ	

わが家の緊急避難場所を確認しよう



津波浸水予測
高知県が平成24年12月に公表した【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波浸水予測に基づいています。

津波浸水予測範囲
○～○分 津波浸水予測時間
足を取られて動けなくなる高さの津波(浸水深30cm)がやってくる時間を示しています。

緊急避難場所
自然地形の高台
津波避難ビル

避難経路
主な避難経路
自然地形の高台への避難経路
避難経路番号

地図の記号
国道 県道
その他の幹線道路
目印となる施設
対象の小学校区界

あなたの小学校区の津波避難ビル			
校区	番号	施設名	収容可能人数(人)
春野西の小学校区	1	ニッポン高度精工株式会社 N-1号工場棟上(マップ外)	450
	2	ニッポン高度精工株式会社 8号工場棟上(マップ外)	800

第2版：高知市 防災対策部 地域防災推進課 令和元年12月改定
(初版発行：高知市 防災対策部 地域防災推進課 平成27年3月)

- ③ 春野東・西小学校区 津波避難行動支援マップ
(平成 25 年度作成)

(A3 津波避難行動支援マップ 差し込み)

※ 「春野東・西小学校区 津波避難行動支援マップ」については、高知市ホームページで閲覧されている方は同ページの「津波避難行動支援マップ」をご覧ください。

④ 臨時情報について

資料： 臨時情報について

1 南海トラフ地震臨時情報

(1) 南海トラフ地震臨時情報とは

「南海トラフ地震臨時情報」（以下、臨時情報）は、南海トラフ地震の想定震源域又はその周辺でM6.8以上の地震が発生した場合や南海トラフ地震の想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した場合に、それらに対する調査開始の旨、そして、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」において調査した結果、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。



(参照：海上保安庁海洋情報部と中央防災会議資料をもとに高知大学総合研究センター改変)

図 南海トラフ地震の想定震源域

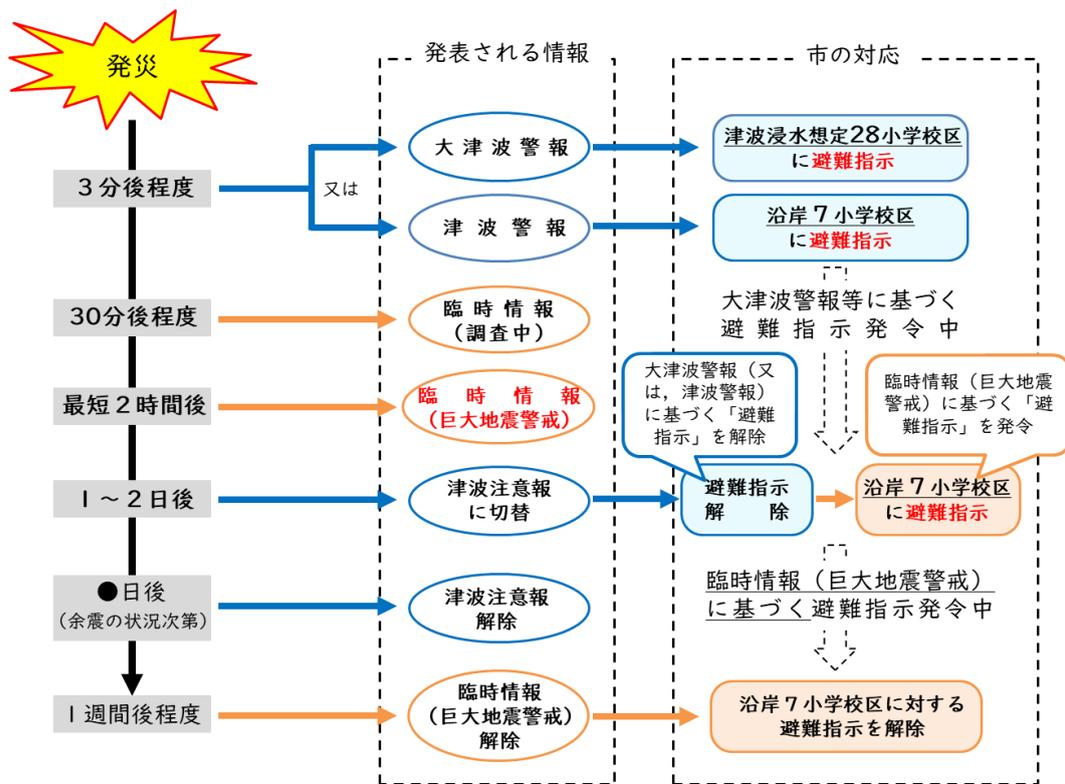
異常な現象の発生後、5～30分程度で調査の開始を知らせる「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されます。この調査の結果は、地震発生の可能性が相対的に高まっている、発生後2時間程度で改めて調査結果が臨時情報として発表されます。

各情報（調査結果）の内容及び発表後の防災対応の詳細については、次頁（表 臨時情報の発表と防災対応の内容）を参照ください。

表 臨時情報の発表と防災対応の内容

情報名	発表の条件	防災対応
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>巨大地震警戒</u>)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、Mw8.0以上の地震が発生したと評価された場合	【巨大地震警戒対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ・津波からの避難が間に合わない一部の地域（ <u>事前避難対象地域</u> ）では引き続き1週間避難を継続 ※ 1週間で「巨大地震注意対応」に引き下げられる。
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>巨大地震注意</u>)	巨大地震の発生に注意が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、 ・Mw7.0以上の地震（巨大地震警戒に該当する場合を除く）（※1） ・通常と異なるゆっくりすべり（※2）が発生したと評価された場合等	【巨大地震注意対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ※ 1週間程度で解除される。 ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>調査終了</u>)	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価された場合	通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。

※1 想定震源域、またはその周辺で Mw7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の Mw8.0 以上の地震を除く）
 ※2 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりしたずれによる地殻変動を観測した場合など



青色：東側で発生した地震に関連した情報及び対応
 橙色：西側で発生するおそれのある後発地震に関連した情報及び対応

図 南海トラフの東側でMw8.0以上の地震が発生した場合（半割れケース）の対応フロー

(1) 臨時情報発表時の避難行動の考え方

地震や津波からの避難対策は、基本その場での突発的な対応が基本になりますが、高知市では、より安全に避難を行うための手段として、臨時情報を利用して事前避難対象地域に対しての避難指示の発令のほか、日頃からの地震への備えの再確認や、自主的な避難の呼びかけなどの防災対応を実施します。

① 事前避難対象地域

30cm以上の津波浸水が地震発生から30分以内に生じる地域について、当該地域を事前避難対象地域として設定し、巨大地震警戒対応時には当該地域に居住している方等を対象に、避難指示を発令します。

高知市の事前避難対象地域は、次のとおりです。

【事前避難対象地域】※ 以下7地区のうち、()内に記載の全部、または一部の地域

- ・ 浦戸小学校区（浦戸）
- ・ 長浜小学校区（長浜、御豊瀬）
- ・ 横浜小学校区（横浜、瀬戸東町1丁目、瀬戸東町2丁目、横浜西町、横浜東町、瀬戸1丁目、瀬戸2丁目）
- ・ 三里小学校区（種崎、仁井田）
- ・ 十津小学校区（十津2丁目、十津5丁目、十津6丁目、仁井田）
- ・ 春野東小学校区（東諸木、甲殿）
- ・ 春野西小学校区（仁ノ、西畑）

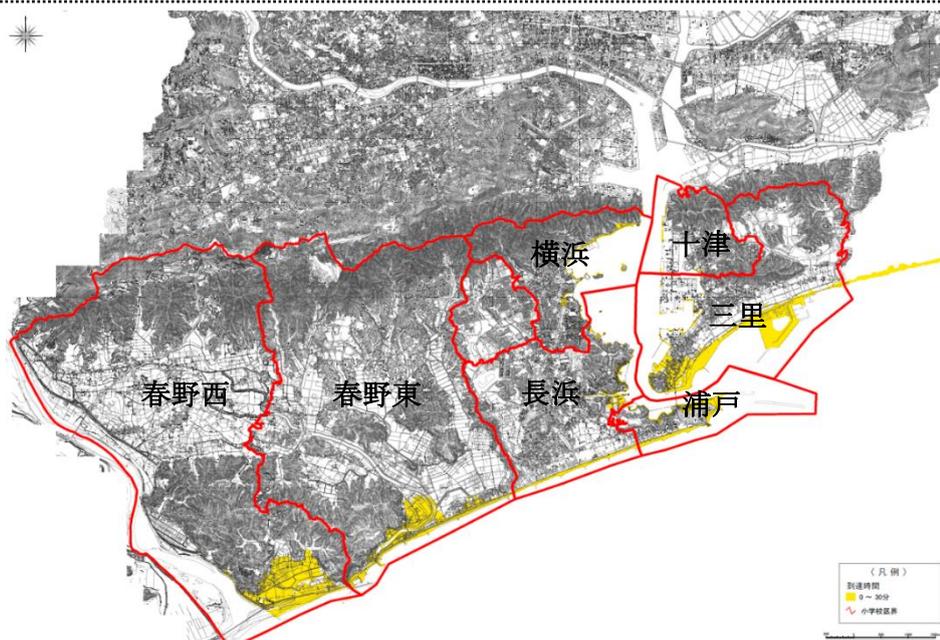


図 高知市の事前避難対象地域（黄色箇所）

事前避難対象地域に居住している方だけでなく、その周辺の方についても、それぞれの状況を考慮し、地震発生後の避難では間に合わないおそれがあると判断した場合、浸水想定区域外の親類や知人宅を基本とした自主避難をしていただくことが必要です。

② 自主的な避難を呼びかける地域

避難指示を発令する事前避難対象地域（またはその周辺地域）にお住いの方以外の一部の方について、親類や知人宅を基本とした自主避難を呼びかけます。

自主的な避難の呼びかけを行う対象は、次のとおりです。

- ・ **津波到達時間が短く地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者**

事前避難対象地域に加えて、各人の状況により、地震発生後の避難では間に合わないおそれがある居住者を対象に、自主避難を呼びかけます。

- ・ **耐震性の不足する住宅にお住まいの方**

地震の揺れで倒壊する可能性が高く、避難が困難になることから、臨時情報発表時には、自主的な事前避難を呼びかけます。

- ・ **斜面崩壊のおそれがある範囲にお住まいの方**

地震による土砂災害が発生する可能性が高い範囲として、「土砂災害警戒区域」の斜面際からの距離がおおむね 10 メートルの範囲内に居住されている方を対象に自主的な事前避難を呼びかけます。

臨時情報は地震発生の可能性の高まりを知らせるものであるため、地震発生可能性と防災対応の実施による日常生活・企業活動への影響のバランスを考えつつ、それぞれがより安全な行動を選択することが必要です。

3 開設される避難所について

臨時情報発表時開設される避難所は、命や財産の安全を最大限図るために設けられる「一般基準」、または、日常生活などを可能な限り阻害しないために設けられる「特別基準」を満たした施設の中から選定し開設します。

これらの基準は、臨時情報（巨大地震警戒）が発表された際の最初の地震発生から 1 週間程度の間開設される避難所に適用されます。1 週間以降 2 週間経過まで、もしくは臨時情報（巨大地震注意）が発表された際には、親類や知人宅への避難が基本になります。

(1) 一般基準

命や財産の安全を最大限図るため、地震が発生した場合にも一定の安全が確保できる施設を選定する基準が「一般基準」です。一般基準によって選定される避難所は、以下のすべての条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【一般基準】

- ・ 津波浸水想定区域外であること
- ・ 土砂災害警戒区域外であること
- ・ 耐震性を備えていること
- ・ 一定の駐車スペースがあること

表 一般基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	第四小学校(体育館)	上町二丁目1-11	616	308	有	なし	なし	有	有
2	小高坂	城西中学校(体育館)	大膳町3-5	795	397	有	なし	なし	有	有
3	旭街	旭小学校(体育館)	本宮町16	801	400	有	なし	なし	有	有
4	旭街	横内小学校(体育館)	横内242-13	908	454	有	なし	なし	有	有
5	旭街	高知特別支援学校(体育館)	本宮町125	687	343	有	なし	なし	有	有
6	初月	初月小学校(体育館)	南久万128	886	443	有	なし	なし	有	有
7	朝倉	朝倉小学校(体育館)	朝倉本町二丁目11-20	758	379	有	なし	なし	有	有
8	朝倉	朝倉第二小学校(体育館)	若草南町23-56	1,046	523	有	なし	なし	有	有
9	鴨田	鴨田小学校(体育館)	鴨部1155	1,119	559	有	なし	なし	有	有
10	鴨田	神田小学校(体育館)	神田1174-1	878	438	有	なし	なし	有	有
11	鴨田	西部中学校(体育館)	鴨部一丁目9-1	800	400	有	なし	なし	有	有
12	秦	秦小学校(体育館)	愛宕山19	756	378	有	なし	なし	有	有
13	長浜	横浜新町小学校(体育館)	横浜新町五丁目2201	904	452	有	なし	なし	有	有
14	介良	介良潮見台小学校(体育館)	潮見台一丁目2602-1	1,068	533	有	なし	なし	有	有
15	土佐山	旧土佐山中学校(体育館)	土佐山弘瀬405	763	379	有	なし	なし	有	有
16	春野	春野西小学校(体育館)	春野町弘岡中2501	618	309	有	なし	なし	有	有
17	春野	春野中学校(体育館)	春野町西分328	1,034	517	有	なし	なし	有	有
合計				14,437	7,212					

(2) 特別基準

事前避難による日常生活及び企業活動の阻害を可能な限り減らすため、一般基準のほかに特別基準を設け、開設する避難所を追加で選定します。

特別基準によって選定する避難所は、次頁の条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【特別基準】

- 津波浸水想定区域内にあるが、建物の上階であれば津波浸水をしない避難スペースが確保できる施設
- 避難所の敷地の一部が土砂災害警戒区域内にあるが、実際の避難スペースである建物等が土砂災害警戒区域外にあるなど、最低限安全が確保できる施設
- その他、実際の事前避難者数や開設避難所の偏りなど、地域の実情に応じて順次開設施設を追加

特別基準は、浸水想定区域内に居住している方が必ずしも最寄りの避難所に入ることを求めたものではありません。それぞれの通勤や通学などといった日常生活の状況を考慮し、避難所を選択できるようにしたものです。

特別基準を満たしている避難所は、次のとおりです。

表 特別基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	旭街	旭東小学校 (体育館)	北端町51	548	274	有	なし	校舎は該当	有	有
2	長浜	横浜中学校 (体育館)	横浜新町一丁目401	855	427	有	なし	校舎は該当	有	有
3	長浜	長浜小学校 (校舎・2階以上)	長浜4811	1,716	858	なし	(1-2m)	なし	有	有
4	長浜	南海中学校 (校舎・2階以上)	長浜5235	1,800	900	有	(0.3-1m)	なし	有	有
5	高知街	第六小学校 (校舎・2階以上)	升形9-4	773	386	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
6	北街	はりまや橋小学校 (校舎・2階以上)	はりまや町二丁目14-8	1,059	529	有	(1-2m)	なし	有	有
7	下知	昭和小学校 (校舎・3階以上)	日の出町7-61	1,165	582	なし	(2-3m)	なし	有	有
8	江ノ口	愛宕中学校 (校舎・2階以上)	相模町1-54	1,321	660	なし	(1-2m)	なし	有	有
9	江ノ口	一ツ橋小学校 (校舎・2階以上)	吉田町4-10	1,167	583	なし	(1-2m)	なし	有	有
10	江ノ口	城東中学校 (校舎・3階以上)	江陽町1-20	387	193	なし	(2-3m)	なし	有	有
11	江ノ口	江陽小学校 (校舎・3階以上)	江陽町1-30	208	104	なし	(2-3m)	なし	有	有
12	江ノ口	江ノ口小学校 (校舎・3階以上)	新本町一丁目8-12	800	400	なし	(2-3m)	なし	有	有
13	小高坂	小高坂小学校 (校舎・2階以上)	新屋敷一丁目11-5	808	404	有	(0.3-1m)	なし	有	有
14	小高坂	城北中学校 (校舎・2階以上)	八反町一丁目8-14	1,724	862	有	(0.3-1m)	なし	有	有
15	潮江	潮江中学校 (校舎・3階以上)	塩屋崎町一丁目2-20	1,354	677	なし	(2-3m)	なし	有	有
16	布師田	布師田小学校 (校舎・2階以上)	布師田1781-1	300	150	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
17	一宮	一宮小学校 (校舎・2階以上)	一宮西町一丁目9-1	1,553	776	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
18	一宮	一宮中学校 (校舎・2階以上)	一宮南町一丁目3-1	1,795	897	なし	(1-2m)	なし	有	有
19	大津	大津中学校 (校舎・3階以上)	大津乙740-1	646	323	なし	(2-3m)	なし	有	有
20	大津	大津小学校 (校舎・2階以上)	大津乙972	1,016	508	なし	(1-2m)	なし	有	有
21	介良	介良中学校 (校舎・3階以上)	介良乙2620	583	291	なし	(2-3m)	なし	有	有
22	介良	介良小学校 (校舎・2階以上)	介良乙2735-1	1,482	741	なし	(1-2m)	なし	有	有
23	五台山	青柳中学校 (校舎・3階以上)	五台山3923	818	409	なし	(2-3m)	なし	有	有
合計				23,878	11,934					

※1 津波浸水のある施設は、浸水想定を踏まえて施設の上階を避難スペースとする。

※2 津波浸水が3メートルを超えると想定されている施設、津波浸水及び土砂災害の両方に該当する施設については、避難者の安全を確保することが困難であるため、開設避難所候補から除外している。

(3) 巨大地震注意対応時の開設避難所

巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難が基本になりますが、知人宅等への避難ができない場合を想定して、自主避難者を受け入れる避難所を開設します。この場合の開設避難所は、大雨・台風時に優先的に開設する避難所を候補とします。

巨大地震注意対応時の開設避難所の候補は、次のとおりです。

表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	龍馬の生まれたまち記念館	上町二丁目6-33	137	68	有	なし	なし	有	有
2	下知	弥右衛門ふれあいセンター	北御座2-60	659	329	有	(2-3m)	なし	有	有
3	下知	下知コミュニティセンター	二葉町10-7	304	152	有	(3-5m)	なし	有	有
4	江ノロ	江ノロコミュニティセンター	愛宕町一丁目10-7	258	129	有	(1-2m)	なし	有	有
5	旭街	木村会館	旭町三丁目121	606	301	有	なし	なし	有	有
6	潮江	潮江市民図書館	棧橋通二丁目1-50	636	316	なし	(2-3m)	なし	有	有
7	三里	三里ふれあいセンター	仁井田4229-2	221	110	有	(0.3-1m)	なし	有	有
8	五台山	五台山ふれあいセンター	五台山2945-2	336	167	有	(3-5m)	なし	有	有
9	高須	高須ふれあいセンター	高須新町二丁目5-15	130	65	有	(2-3m)	なし	有	有
10	布師田	布師田ふれあいセンター	布師田1647	139	68	有	なし	該当	有	有
11	一宮	一宮ふれあいセンター	一宮中町一丁目5-20	104	52	有	(0.3-1m)	なし	有	有
12	秦	秦ふれあいセンター	中秦泉寺54-3	210	104	有	なし	なし	有	有
13	初月	初月ふれあいセンター	南久万119-1	94	47	有	なし	なし	有	有
14	朝倉	朝倉ふれあいセンター	曙町一丁目14-12	168	84	有	なし	なし	有	有
15	鴨田	鴨田ふれあいセンター (※西部健康福祉センター)	鴨部860-1	828	414	有	なし	なし	有	有
16	長浜	長浜ふれあいセンター	長浜690-5	150	74	有	(1-2m)	なし	有	有
17	御豊瀬	御豊瀬ふれあいセンター	御豊瀬252	173	86	有	(2-3m)	該当	有	有
18	浦戸	浦戸ふれあいセンター	浦戸274-9	147	73	有	(3-5m)	なし	有	有
19	大津	大津ふれあいセンター	大津乙930-5	165	81	有	(1-2m)	なし	有	有
20	介良	介良ふれあいセンター	介良乙2286	141	70	有	(1-2m)	なし	有	有
21	鏡	中山間地域構造改善センター	鏡小浜8	456	227	有	なし	該当	有	有
22	土佐山	土佐山公民館	土佐山122-1	258	128	有	なし	なし	有	有
23	春野	あじさい会館	春野町西分1-1	357	178	有	なし	なし	有	有
合計				6,677	3,323					

※ 巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難を基本としているが、知人宅等への避難が困難な場合に、上記施設のうちから、津波浸水がなく、かつ、土砂災害警戒区域に該当しない施設から順次開設予定。

作成・改訂履歴

作成・改訂年月	内容
平成26年3月	作成
平成28年3月	データ更新
令和3年3月	データ更新
令和4年12月	データ更新
令和5年度～	検証（継続中）
令和6年3月	データ更新
令和7年3月	データ更新

令和7年3月

高知市防災対策部

地域防災推進課